

令和4年度
福祉除雪事業アンケート調査結果の概要
【主要項目】

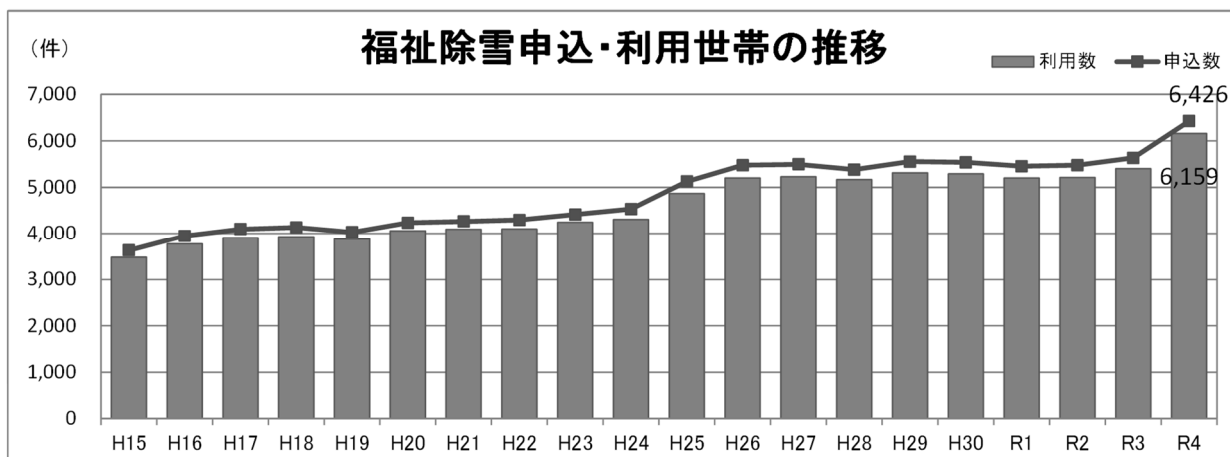
- I 活動状況
- II 利用世帯
- III 地域協力員
- IV 地域協力団体

令和5年6月

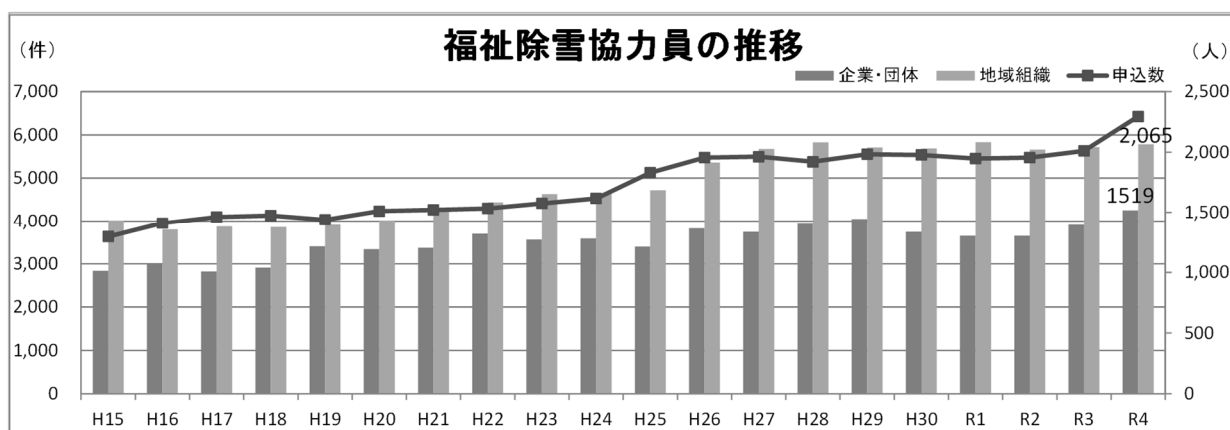
札幌市社会福祉協議会
地域福祉課

I 活動状況

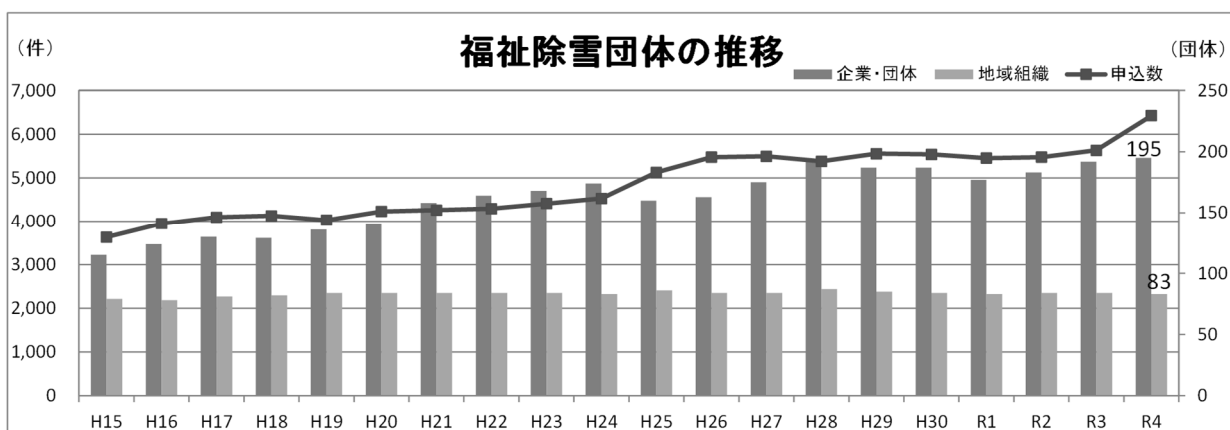
(1) 利用世帯



(2) 地域協力員



(3) 地域協力団体



- * 各グラフの申込数および福祉除雪申込・利用世帯の推移の利用者数は冬季支援世帯の件数は含まない。
- * 各回答の百分率は少数第2位を四捨五入しているため、個々の比率の合計が100%にならない場合がある。
- * 利用世帯における申込数と利用数の差は、非該当(利用条件に合致せず利用不可となった世帯)や辞退(申込後、事業開始前に申請を取り下げた世帯)によるものである。

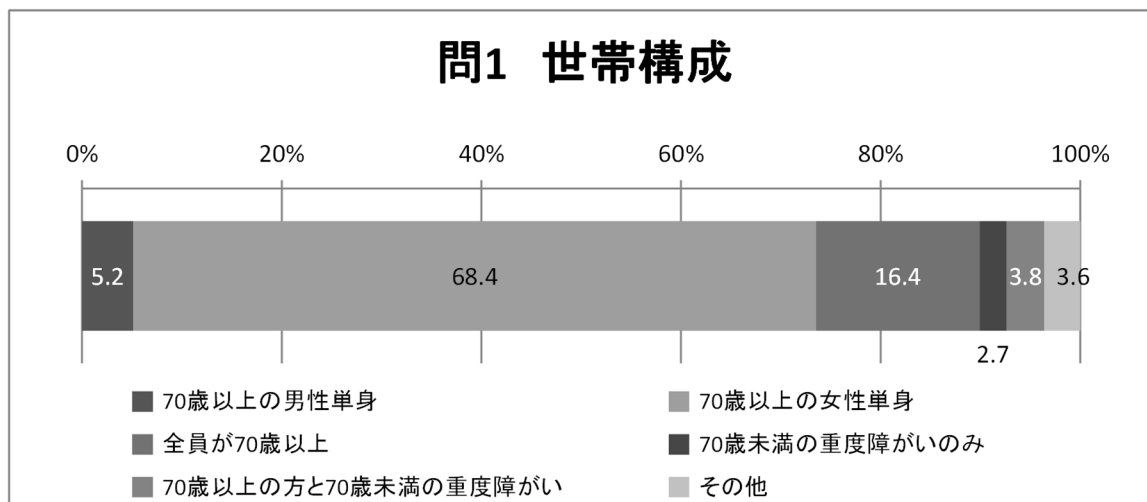
II 利用世帯

利用世帯「6,159世帯」から「600世帯」を無作為抽出し、令和5年4月にアンケート調査を実施したところ、「459世帯」から回答があった。（回収率76.5%）。

1. あなたの世帯について

世帯構成（問1）

「70歳以上の女性単身世帯」が68.4%と最も高い。また、「全員が70歳以上の世帯」の16.4%と「70歳以上の男性単身世帯」の5.2%を合わせると90.0%となり、『70歳以上のみの世帯』は9割となっている。

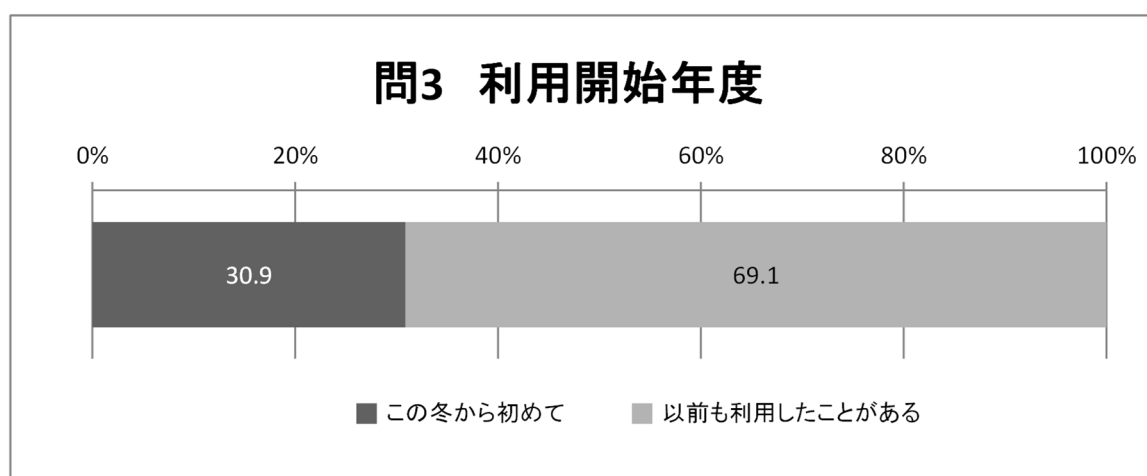


	70歳以上の男性単身	70歳以上の女性単身	全員が70歳以上	70歳未満の重度障がいのみ	70歳以上の方と70歳未満の重度障がい	その他	全体
R4	5.2%	68.4%	16.4%	2.7%	3.8%	3.6%	100.0%
R3	6.2%	68.6%	17.7%	0.8%	4.0%	2.7%	100.0%

2. 「福祉除雪」の利用について

(1) 利用開始年度（問3）

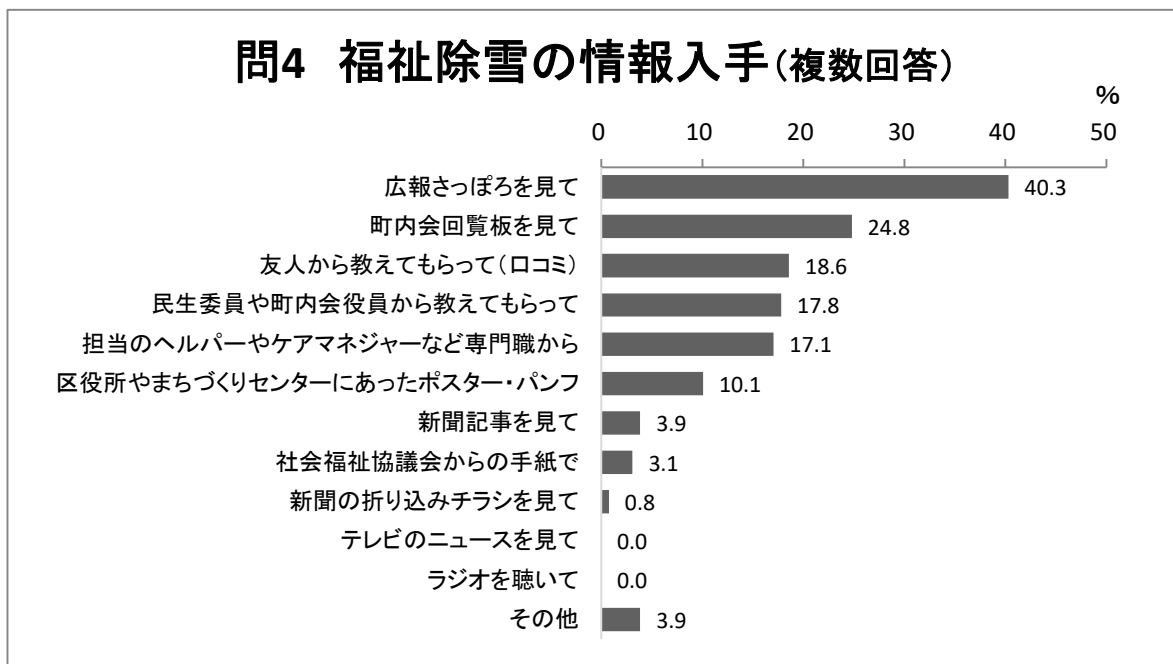
「この冬から初めて」が30.9%と、新規利用者は約3割となっている。また、前年度と比較すると、「この冬から初めて」は7.6ポイント上昇している。



	この冬から初めて	以前も利用したことがある
R4	30.9%	69.1%
R3	23.3%	76.7%

(2) 福祉除雪を知ったきっかけ（問4、問3で「1この冬から初めて」を選んだ人）

「広報さっぽろを見て」の40.3%が最も高く、次いで「町内会回覧板を見て」（24.8%）、「友人から教えてもらって（口コミ）」（18.6%）、「民生委員や町内会役員から教えてもらって」（17.8%）、「担当のヘルパーやケアマネジャーなど専門職から」（17.1%）となっており、市広報誌で情報を得たり、地域や身近な人から教えてもらったりするケースが多くみられた。

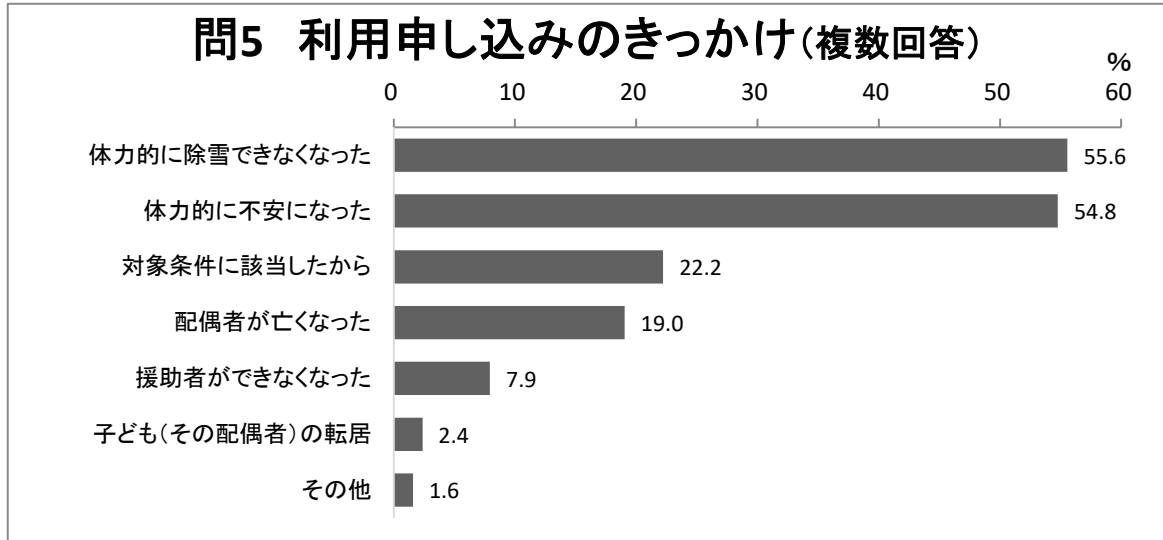


	R4	R3
広報さっぽろを見て	40.3%	31.3%
町内会回覧板を見て	24.8%	22.9%
友人から教えてもらって(口コミ)	18.6%	13.3%
民生委員や町内会役員から教えてもらって	17.8%	19.3%
担当のヘルパーやケアマネジャーなど専門職から	17.1%	19.3%
区役所やまちづくりセンターにあったポスター・パンフ	10.1%	3.6%
新聞記事を見て	3.9%	1.2%
社会福祉協議会からの手紙で	3.1%	3.6%
新聞の折り込みチラシを見て	0.8%	-
テレビのニュースを見て	0.0%	-
ラジオを聴いて	0.0%	-
その他	3.9%	4.8%

(3) 利用開始のきっかけ (問5、問3で「1 この冬から初めて」を選んだ人)

「体力的に除雪できなくなった」が 55.6%、「体力的に不安になった」が 54.8%と、『体力的な問題』で利用を開始した人が多く、いずれも5割を超えている。

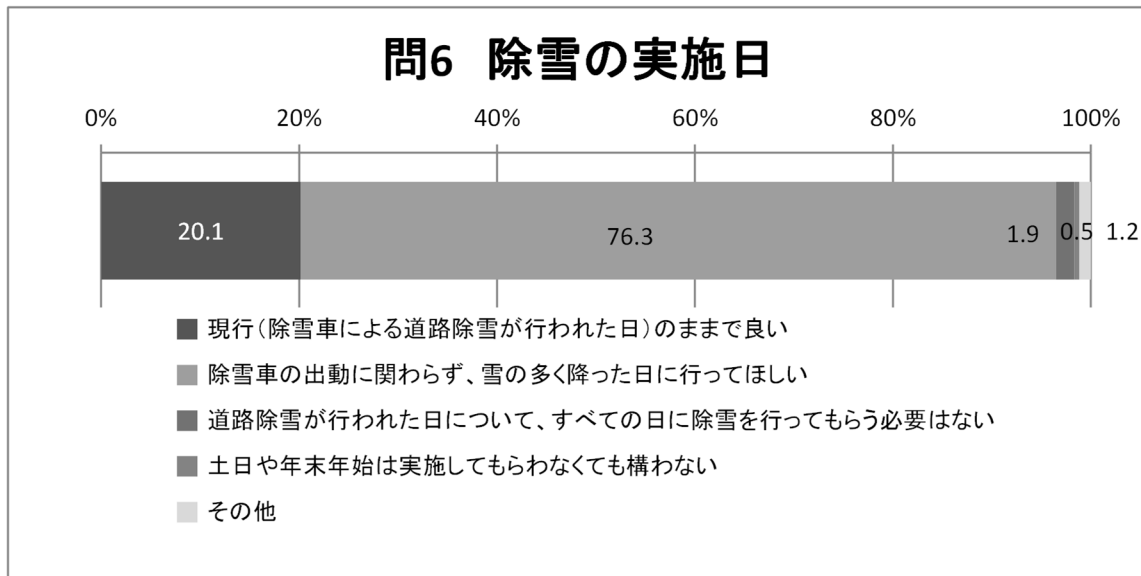
また、「対象条件に該当したから」は22.2%と、前年度に比べて10ポイント以上増加している。



	R4	R3
体力的に除雪できなくなった	55.6%	35.7%
体力的に不安になった	54.8%	25.4%
対象条件に該当したから	22.2%	10.3%
配偶者が亡くなった	19.0%	14.3%
援助者ができなくなった	7.9%	4.0%
子ども(その配偶者)の転居	2.4%	4.0%
その他	1.6%	2.4%

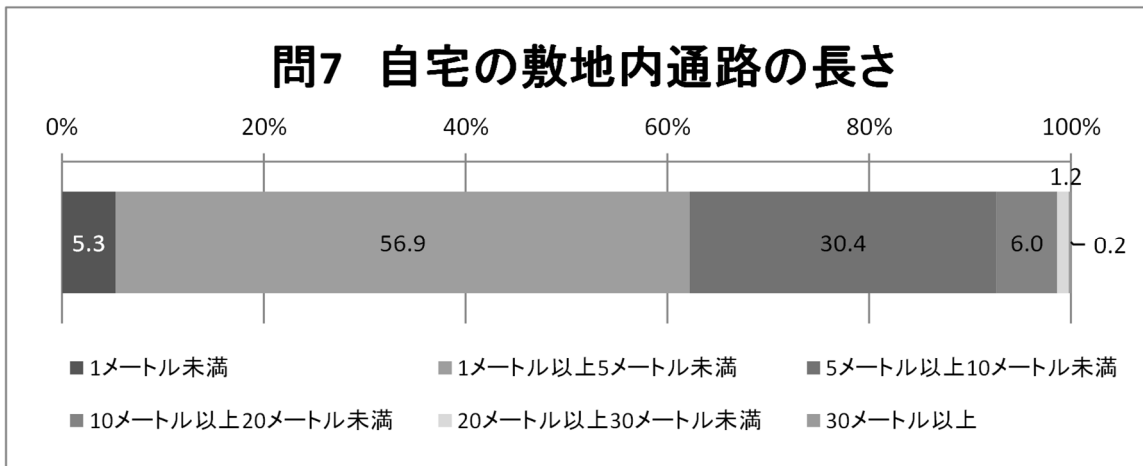
(4) 除雪の実施日 (問6)

「除雪車の出動に関わらず、雪の多く降った日に行ってほしい」が 76.3%と、最も割合が高い。一方、「現行のままで良い」という回答は、約2割であった。



(5) 自宅の敷地内通路の長さ (問7)

「1メートル以上5メートル未満」の割合が最も高く56.9%、次いで「5メートル以上10メートル未満」が30.4%と、『10メートル未満』が9割を超えている。

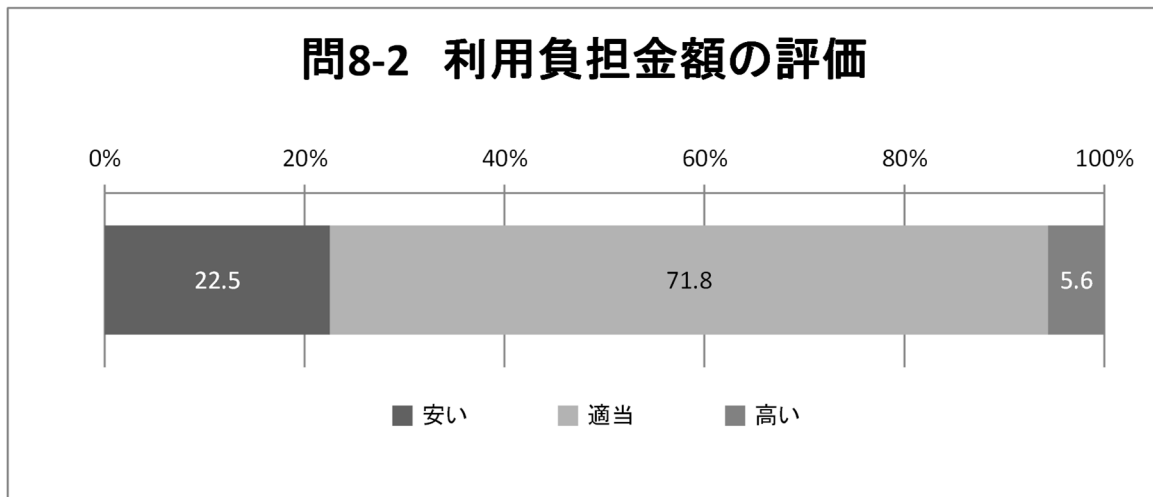


(6) 利用負担金額の評価等 (問8-1、問8-2、問8-3、問8-4)

負担金額の区分別順位は、「非課税世帯」が73.1%と最も高く、次いで「課税世帯」(24.2%)、「生活保護世帯」(2.7%)となっている。また、前年度と比較すると、「無料」「非課税世帯」の割合が増加し、「課税世帯」の割合は減少している。

利用負担金額の評価では、「適当」が71.8%と、約7割が妥当な金額と評価している。一方、「安い」(22.5%)は、前年度に比べて5.4ポイント減少している。

	10,000円 (課税世帯)	5,000円 (非課税世帯)	無料 (生活保護世帯)	全体
R4	24.2%	73.1%	2.7%	100.0%
R3	25.5%	72.5%	1.9%	100.0%



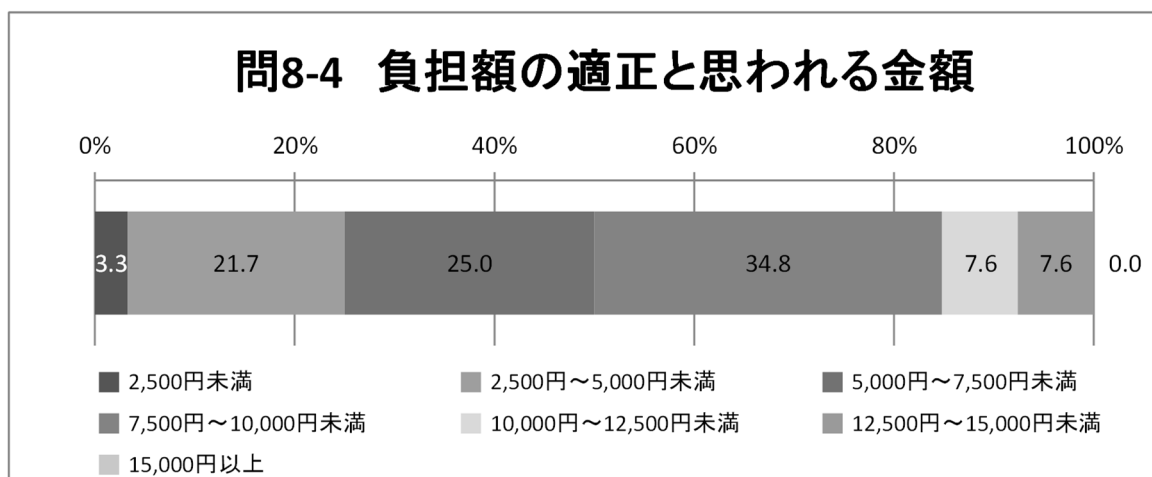
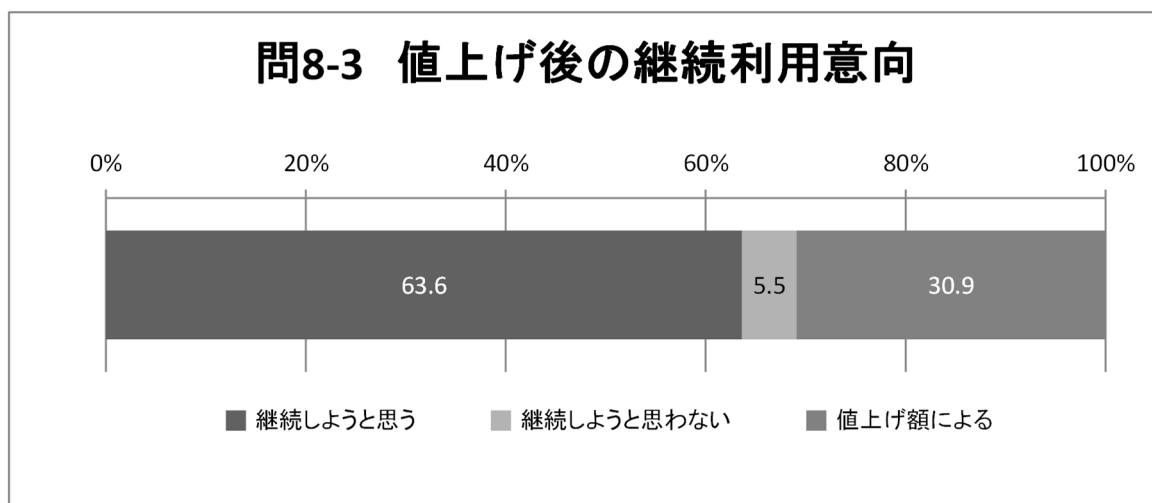
	安い	適当	高い	全体
R4	22.5%	71.8%	5.6%	100.0%
R3	27.9%	66.5%	5.6%	100.0%

課税世帯・非課税世帯別に、負担金額の各区分における利用負担金額の評価をみると、課税世帯・非課税世帯ともに「適当」の割合が最も高かった(課税世帯69.7%、非課税世帯72.6%)。

	安い	適当	高い	全体
10,000円 (課税世帯)	17.4%	69.7%	12.8%	100.0%
5,000円 (非課税世帯)	24.3%	72.6%	3.2%	100.0%

値上げ後の継続利用の意向について聞いたところ、「継続しようと思う」の割合が最も高く63.6%であった。

また、問8-2で「高い」または「安い」と回答した方に負担額の適正と思われる金額を聞いたところ、「7,500円～10,000円未満」の割合が最も高く34.8%、次いで「5,000円～7,500円未満」が25.0%と、約6割の方が『5,000円～10,000円未満』が適正であると回答している。



また、課税世帯・非課税世帯別にみると、課税世帯では「12,500円～15,000円未満」(26.1%)、非課税世帯では「7,500円～10,000円未満」(40.6%)の割合が最も高かった。

	2,500円未満	2,500円～5,000円未満	5,000円～7,500円未満	7,500円～10,000円未満	10,000円～12,500円未満	12,500円～15,000円未満	15,000円以上	全体
10,000円 (課税世帯)	4.3%	17.4%	17.4%	17.4%	17.4%	26.1%	0.0%	100.0%
5,000円 (非課税世帯)	2.9%	23.2%	27.5%	40.6%	4.3%	1.4%	0.0%	100.0%

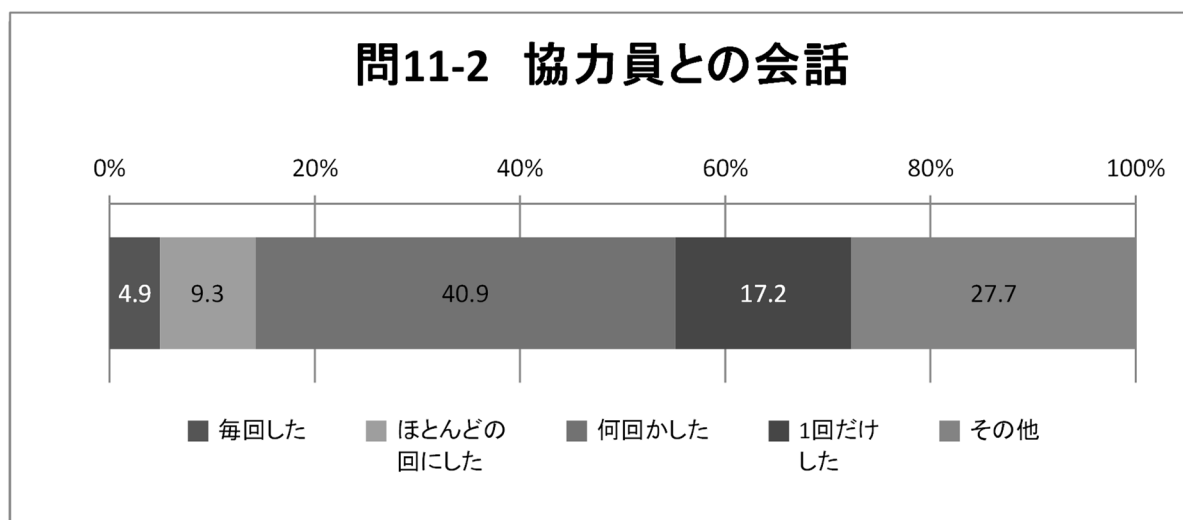
(5) 担当の地域協力員（問11(1)(2)）

担当の地域協力員は、「近所の人だった」が48.9%と最も割合が高かった。また、前年度と比較すると、「近所の人か分からない」の割合が増加している。

協力員との会話については、「毎回した」（4.9%）、「ほとんどの回にした」（9.3%）、「何回かした」（40.9%）を合わせると約6割を占めている。

前年度（56.6%）と比較すると、会話する機会が減少している。また、「その他」には『早朝や夜間の作業だったため、会話をしたことがない』という回答が多く見受けられた。

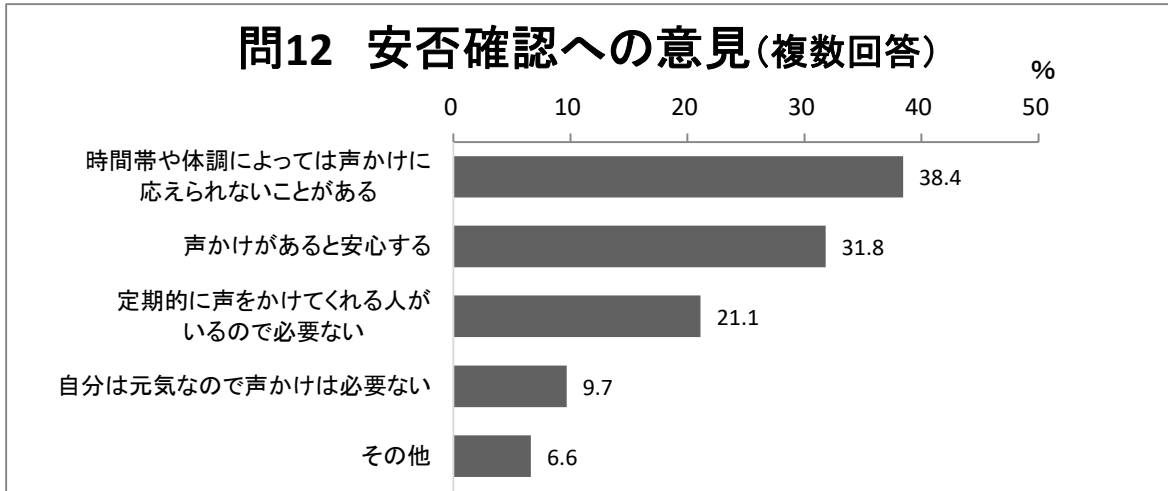
	近所の人 だった	近所の人で はなかった	近所の方か わからない	全体
R4	48.9%	14.2%	36.9%	100.0%
R3	54.1%	16.0%	29.9%	100.0%



	毎回した	ほとんどの 回にした	何回かした	1回だけ した	その他	全体
R4	4.9%	9.3%	40.9%	17.2%	27.7%	100.0%
R3	6.4%	8.9%	41.3%	15.6%	27.7%	100.0%

(6) 地域協力員による声かけ（安否確認）（問12）

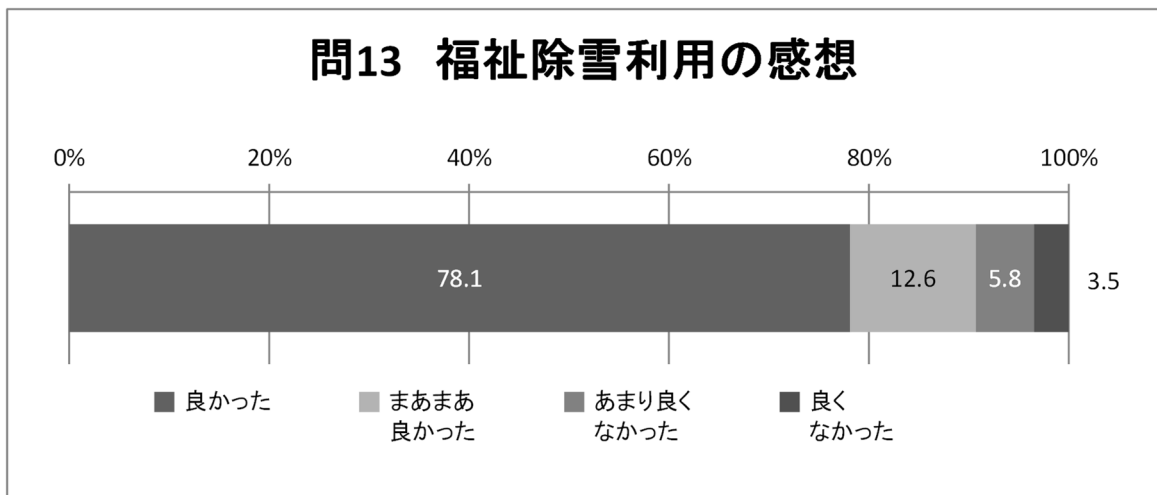
「時間帯や体調によっては声かけに応えられないことがある」が 38.4%と最も高く、次いで「声かけがあると安心できる」（31.8%）となっている。一方で、「定期的に声をかけてくれる人がいるので必要ない」（21.1%）、「自分は元気なので声かけは必要ない」（9.7%）など、『声かけは必要ない』とする回答や、「その他」には『一度も見たことがない』『終了の紙だけ入っている』などの回答も見受けられた。



	R4	R3
時間帯や体調によっては声かけに応えられないことがある	38.4%	32.1%
声かけがあると安心する	31.8%	39.1%
定期的に声をかけてくれる人がいるので必要ない	21.1%	12.4%
自分は元気なので声かけは必要ない	9.7%	11.2%
その他	6.6%	12.9%

(7) 福祉除雪利用の感想（問13）

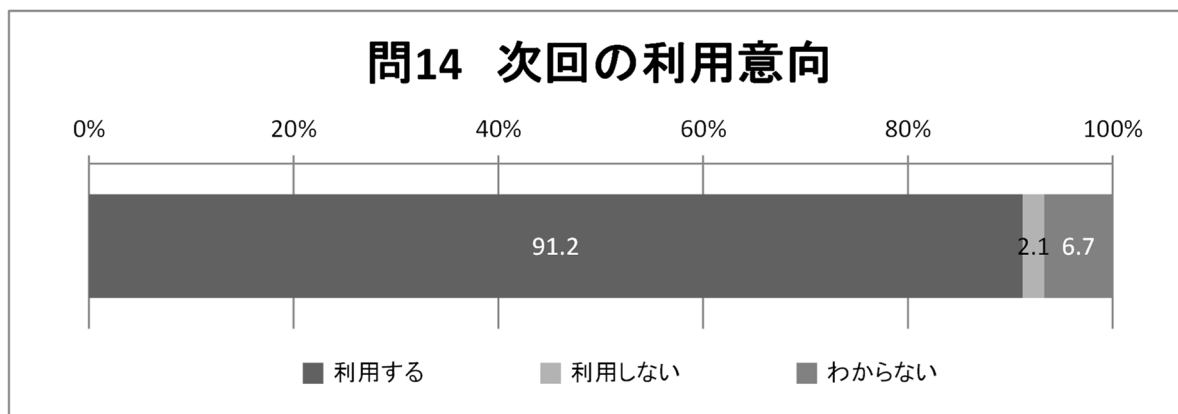
「良かった」が 78.1%と最も高く、「まあまあ良かった」（12.6%）と合わせると、全体の約9割が『福祉除雪を利用して良かった』と感じている。



	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった
R4	78.1%	12.6%	5.8%	3.5%
R3	76.4%	14.0%	6.0%	3.6%

(8) 次回の利用意向 (問14)

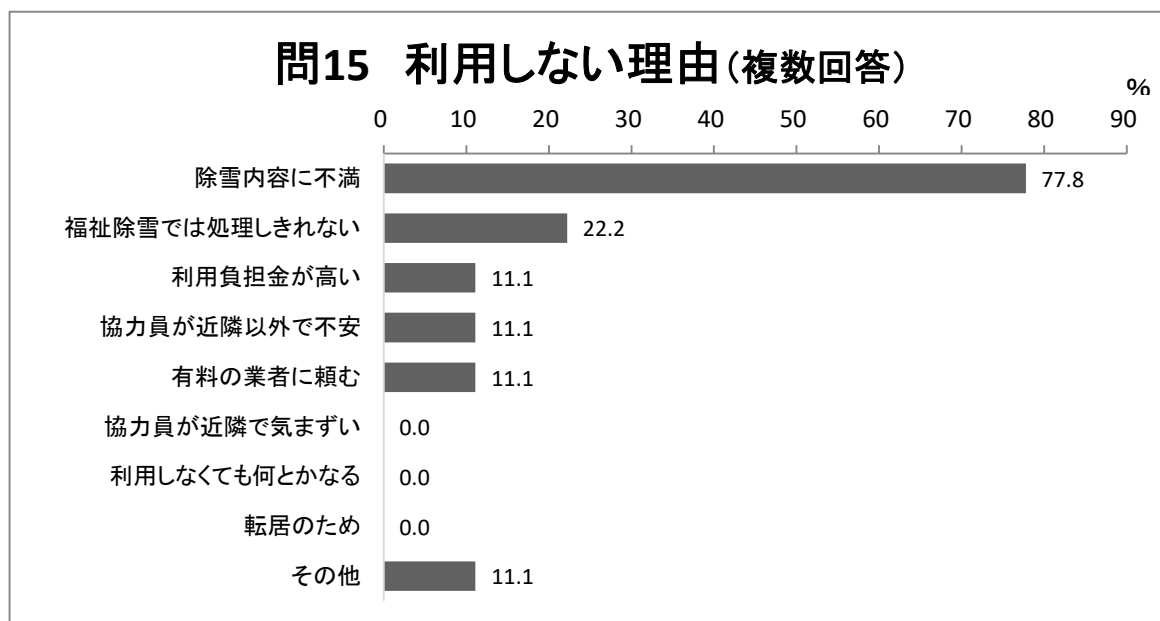
「利用する」が91.2%と、約9割を占めている。また、前年度と比較すると、「利用しない」が増加し、「わからない」が減少している。



	利用する	利用しない	わからない	全体
R4	91.2%	2.1%	6.7%	100.0%
R3	91.0%	1.6%	7.4%	100.0%

(9) 継続利用しない理由 (問15)

回答件数は9件と少なかったが、内訳としては「除雪内容に不満」の割合が最も高く77.8%、次いで「福祉除雪では処理しきれない (22.2%)」であった。



(10) 福祉除雪についての意見(改善点) (問16)

主な意見抜粋

回答者数合計 296件(無回答・「特になし」を除く)

項目	内容	件数
感謝・ 継続利用	協力員の方はとてもきれいに除雪して下さって、やさしい声も必ずかけてくださり、吹雪でも安心して生活できました。協力員の方のおかげで冬が来ても不安はありません。感謝しています。	223
	最初担当した方は本当に歩くところしかやってもらえなかったが、二人目の人は丁寧に私の希望を聞いてやってもらえたので、気持ちよく過ごせました。本当に助かりました。やっぱり自分の家と同じように除雪してもらえたらうれしいです。ありがとうございました。	
	まだ仕事をされている方なので、早朝に申し訳ないといつも思います。ありがたくて、自分が若いころ近隣の方にそんなことも考えなかったことを反省させられています。もっと行政の方でも広報して、働く人たちもお世話になっている我々にも心苦しく思われなく済むようになったら良いと思っています。	
	福祉除雪はありがたいと思っています。今の自分には除雪する力が無いため、今後もよろしく願います。	
改善・ 要望	作業を行う協力員が交代する場合、引継ぎまたは利用者との除雪で場所の確認(打ち合わせ)があると円滑に行えるように思います(今回、実際に混乱があった)。	54
	区内の場所によって降雪・積雪の状態が違っているので、福祉除雪協力員への指示と違いがあり、状況を見に来てもらっても連絡が「こうだから」と連絡指示にこだわり実情とマッチしないことが多い。	
	毎年、大変助けられております。負担金額は従来通りでよろしく願います。	
除雪時間 や回数	定期的にデイサービス、リハビリに通所するので、その時間に合わせてほしい事を事前にお話ししたら間に合うようにしていただきましてありがたかったです。本当に感謝しています。	49
	毎回午前2時前後の除雪が多く、その後の降雪の除雪が大変だったので、午前4~6時位にお願い出来ればありがたいです。	
	1日1回ではなく、雪が多く降り続く日などは家が雪で埋まってしまうので、その時に応じて除雪をしていただきたい。あと、ストーブの排気口など雪で埋まったら危険なところは対処していただきたい。よろしく願います。毎年福祉除雪をしていただいで大変助かっています。	
除雪範囲	ヘルパーが家の前に車を停められるように除雪していただけたら幸いに存じます。今冬は男性のヘルパーでしたので除雪をしてくれました。西野は積雪が非常に多いため、作業をしてくださる方に感謝致します。	25
	車いすを利用しているので、歩行幅ではなく車いすが通れる幅に除雪していただきたい。道路除雪に関わりなく、状況にあわせて午前中までに行っていただきたい。	
除雪内容 に疑問	利用したいと思いますが、除雪の場所・捨てるところが何度も変更され、話し合いましたが、最初の話し合いの時のことを言っても「聞いてない」「言っていない」の水掛け論です。役所の方で地図等を作り、最初の話し合いの時にでも印をつけるなど、紙に確実に残る方法にしてもらおうと後々もめごとにならず助かります。排雪業者との場所決めもあるので、違うところに捨てられると2度の作業で困ります。	17
	我が家の場合、範囲がごくわずかなのに作業が大変雑で失望しました。	
その他	何時も来る時間帯が早朝のため、言葉をかけられません。来る時間帯がある程度決まっていれば言葉をかけたいと思います。	15
	施設に転居するかもしれません。	

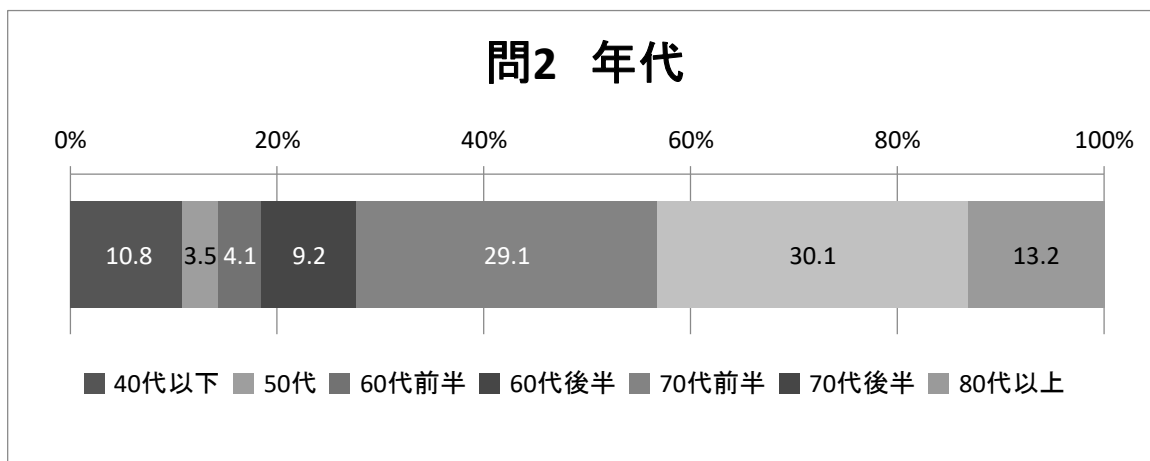
Ⅲ 地域協力員

地域協力員のうち、地域組織（主に利用者の近隣住民）の協力員（個人）「2,065人」の中から「600人」を無作為抽出し、アンケート調査を実施したところ、「509人」から回答があった。（回収率84.8%）

1. 自身のことについて

(1) 性別・年代（問1、問2）

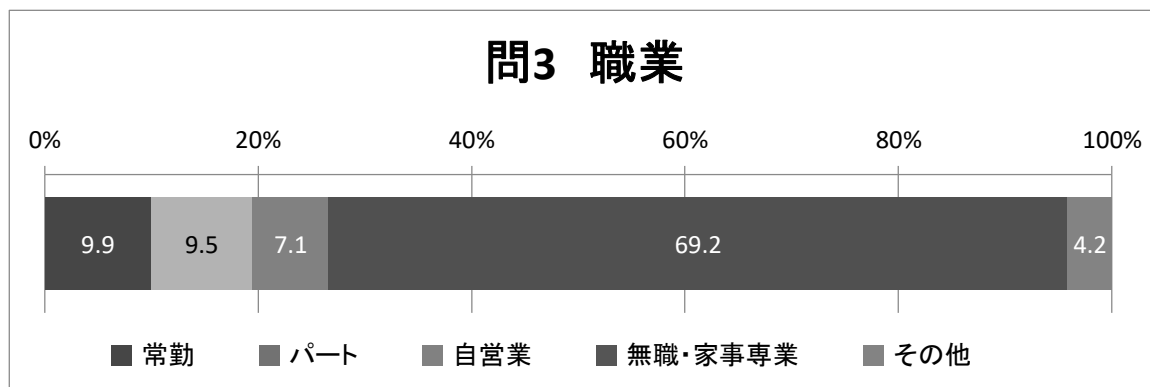
性別は、「男性」が90.7%と約9割を占めている。年代は、『60代後半以上』が81.6%と約8割を占めている。中でも『70代以上』は72.4%と、高齢者の割合が高い。



	40代以下	50代	60代前半	60代後半	70代前半	70代後半	80代以上	全体
R4	10.8%	3.5%	4.1%	9.2%	29.1%	30.1%	13.2%	100.0%
R3	6.8%	3.4%	3.1%	12.8%	29.3%	31.5%	13.1%	100.0%

(2) 職業（問3）

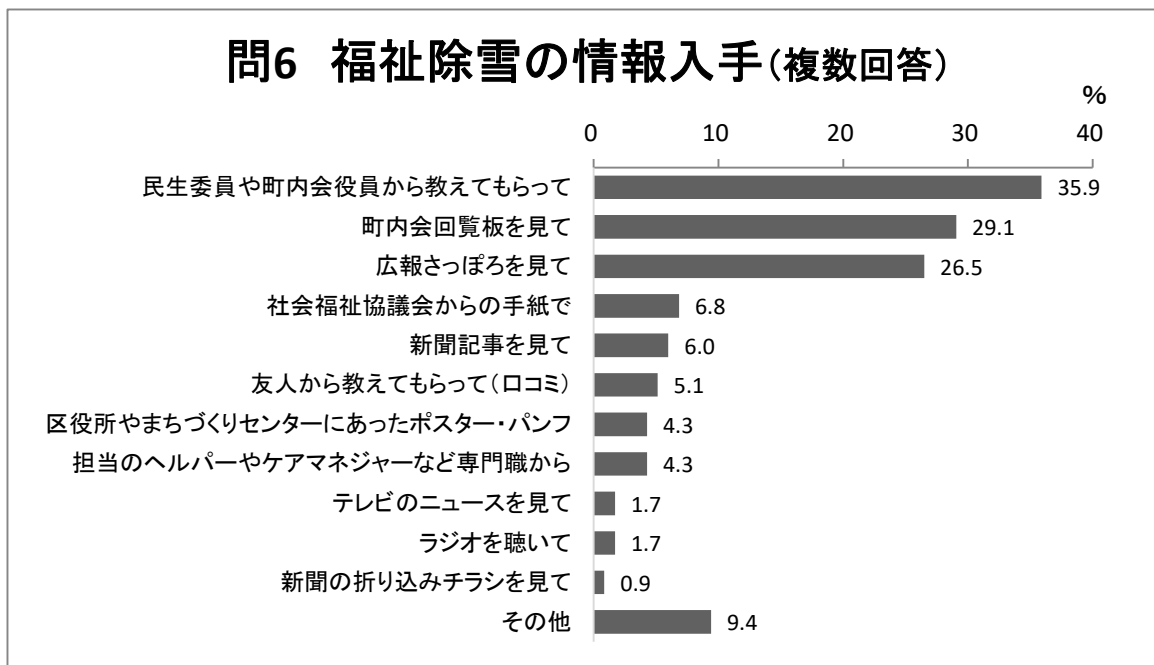
職業は、「無職・家事専業」が69.2%と約7割を占めている。また、前年度と比較すると、「無職・家事専業」が4.7ポイント減少しているのに対し、「常勤」「パート」「自営業」は、いずれも増加している。



	常勤	パート	自営業	無職・家事専業	その他
R4	9.9%	9.5%	7.1%	69.2%	4.2%
R3	7.1%	7.6%	6.3%	73.9%	5.1%

(3) 協力開始年度 (問5、問6)

協力員としての活動開始時期について、「(令和4年度)以前にも協力していた」が75.9%と、約8割を占めている。また、「この冬から初めて(令和4年度から)」と回答した方に福祉除雪の情報入手先を聞いたところ、「民生委員や町内会役員から教えてもらって」の割合が最も高く35.9%、次いで「町内会回覧板を見て(29.1%)」、「広報さっぽろを見て(26.5%)」の順となっている。

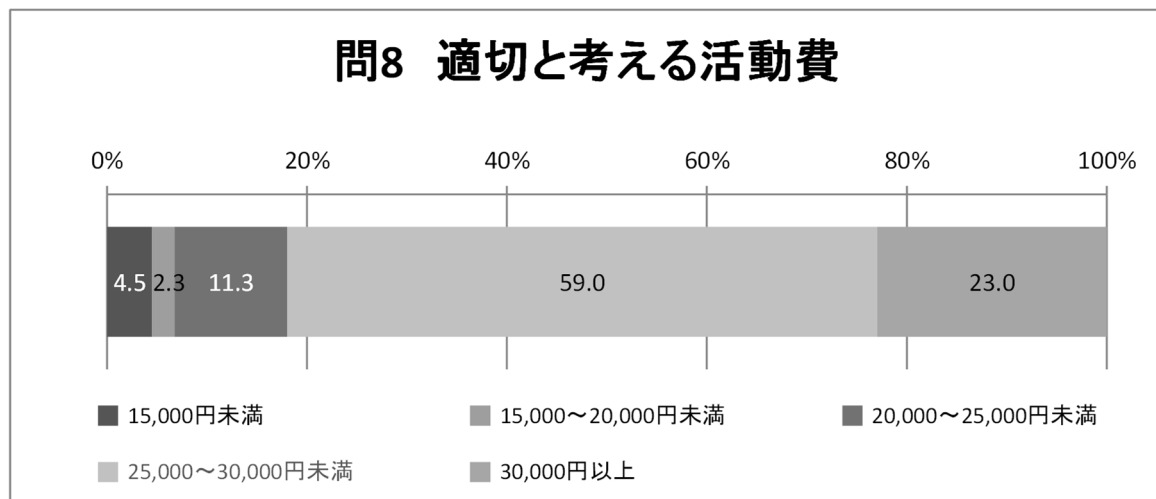
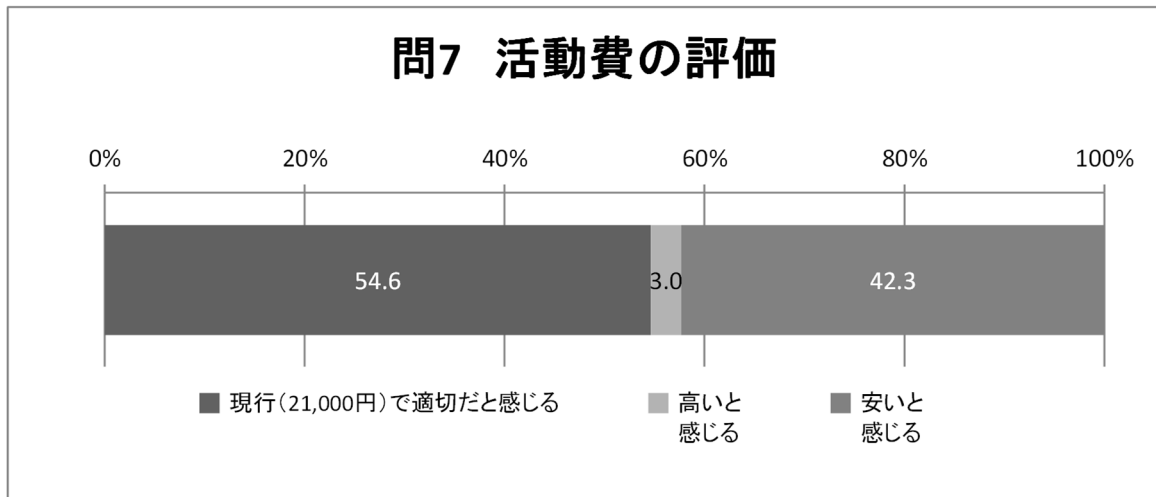


2. この冬の福祉除雪活動について

(1) 活動費の評価等（問7、問8）

54.6%が「現行（21,000円）で適切と感じる」と回答している。一方、「安いと感じる」も42.3%と約4割を占めている。

また、問7で「高いと感じる」または「安いと感じる」と回答した方に、適切と考える活動費を尋ねたところ、「25,000円～30,000円未満」の割合が最も高く59.0%、次いで「30,000円以上」が23.0%、「25,000円～25,000円未満」が11.3%であった。

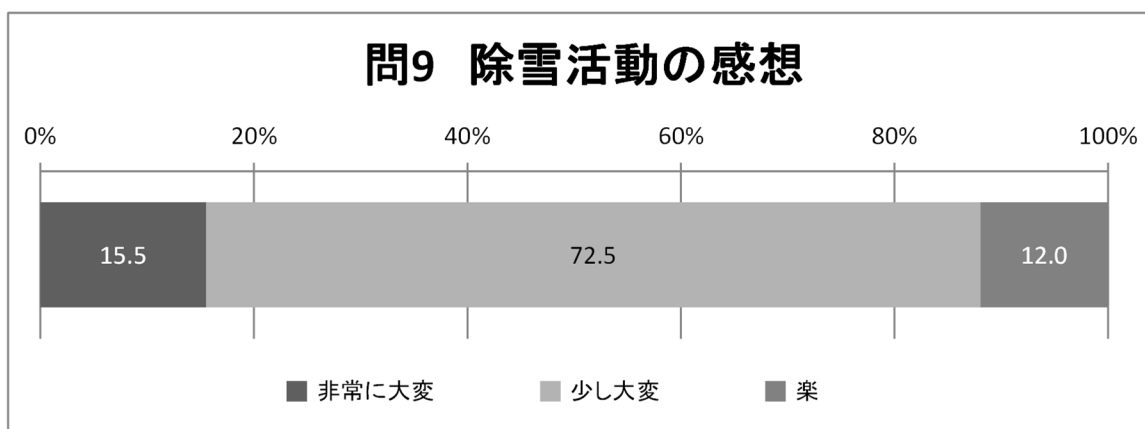


	15,000円未満	15,000円～20,000円未満	20,000円～25,000円未満	25,000円～30,000円未満	30,000円以上	全体
高いと感じる	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
安いと感じる	0.0%	0.0%	12.1%	63.3%	24.6%	100.0%

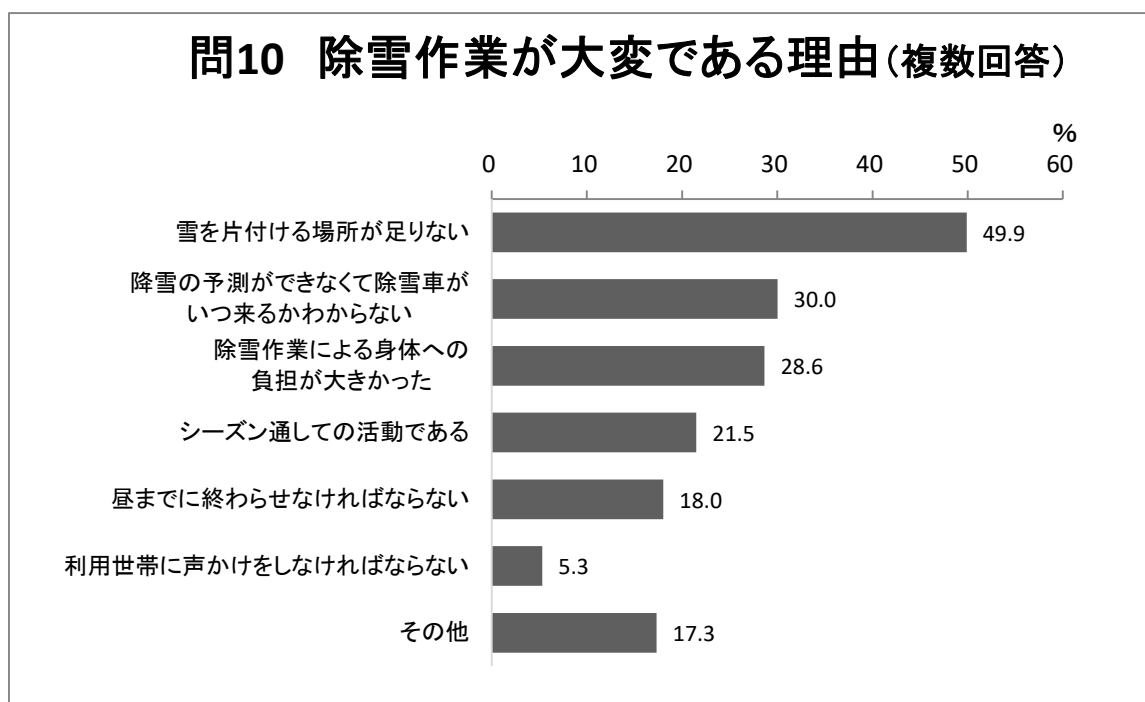
(2) 除雪活動の負担感（問9、問10、問11、問12）

「少し大変」が72.5%と約7割を占め、次いで「非常に大変」が15.5%となっている。

「除雪作業が大変」である理由としては、「雪を片付ける場所が足りない」（49.9%）、「降雪の予測ができなくて除雪車がいつ来るかわからない」（30.0%）、「除雪作業による身体への負担が大きかった」（28.6%）などが多く挙げられた。



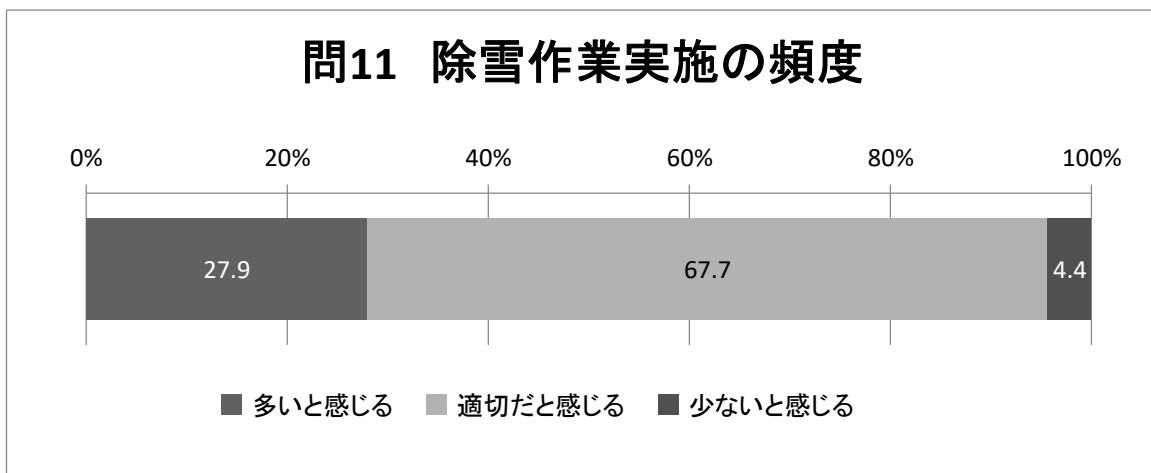
	非常に大変	少し大変	楽	全体
R4	15.5%	72.5%	12.0%	100.0%
R3	30.9%	63.0%	6.1%	100.0%



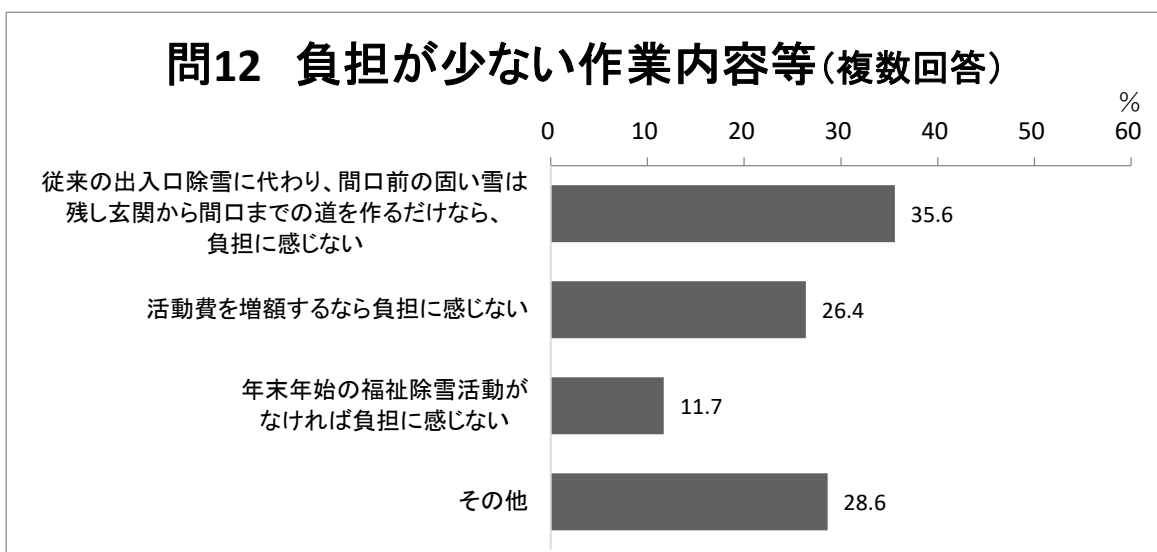
また、「適切と考える活動費（問8）」別にみると、いずれの項目においても「25,000円～30,000円未満」が最も多く挙げられた。

	15,000円未満	15,000円～20,000円未満	20,000円～25,000円未満	25,000円～30,000円未満	30,000円以上
除雪作業による身体への負担が大きかった	2.7%	1.3%	9.3%	61.3%	25.3%
雪を片付ける場所が足りない	3.5%	0.9%	7.9%	61.4%	26.3%
昼までに終わらせなければならない	0.0%	2.1%	16.7%	56.3%	25.0%
降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない	2.7%	5.5%	9.6%	54.8%	27.4%
利用世帯に声かけをしなければならない	6.7%	0.0%	13.3%	60.0%	20.0%
シーズン通しての活動である（12月～3月）	4.8%	2.4%	16.7%	42.9%	33.3%
その他	7.7%	0.0%	5.1%	56.4%	30.8%

問9で「非常に大変」「少し大変」と回答した方に、除雪作業実施の頻度（問11）を尋ねたところ、「適切だと感じる」の割合が最も高く、67.7%であった。

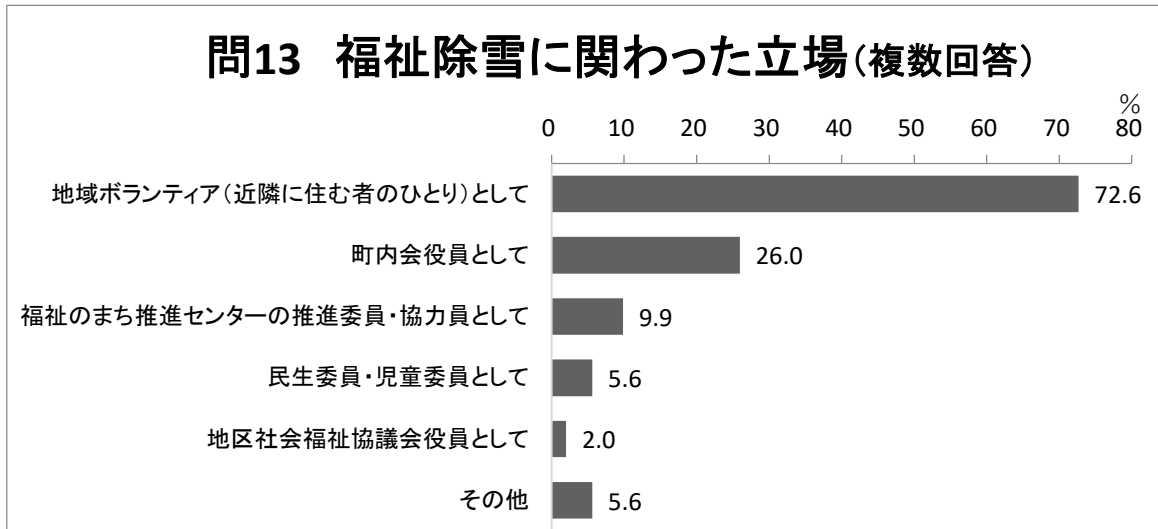


問9で「非常に大変」「少し大変」と回答した方に、負担に感じない作業内容等（問12）を尋ねたところ、「従来の出入口除雪に代わり、間口前の固い雪は残し玄関から間口までの道を作るだけなら、負担に感じない」の割合が最も高く、35.6%であった。



(3) 協力の立場 (問13)

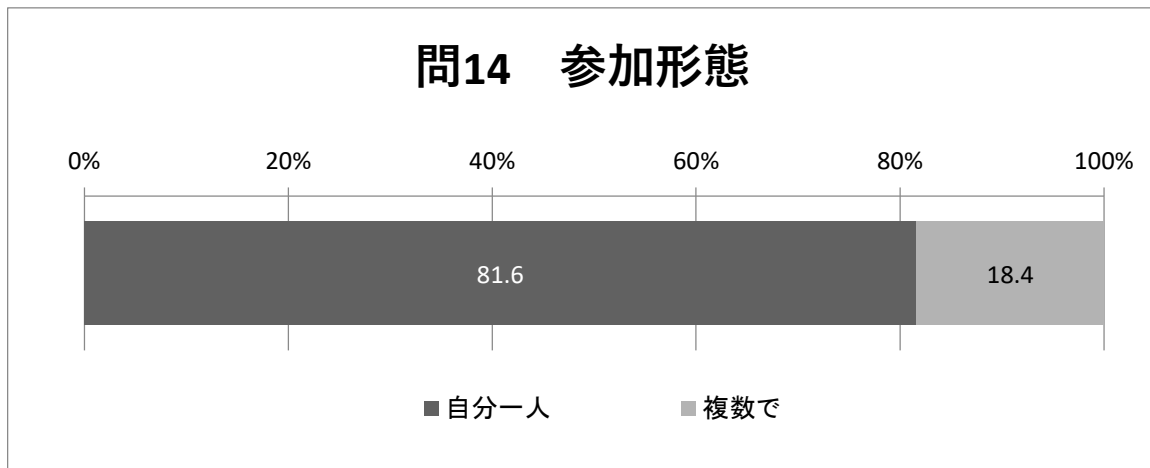
「地域ボランティア (近隣住民)」の立場で協力している人が 72.6%と、約7割を占めている。他には、「町内会役員」が 26.0%、「福まち推進委員・協力員」が 9.9%となっている。また、前年度と比較すると、「地域ボランティア (近隣住民)」の割合が増加している。



	R4	R3
地域ボランティア (近隣に住む者のひとり) として	72.6%	66.2%
町内会役員として	26.0%	25.9%
福祉のまち推進センターの推進委員・協力員として	9.9%	11.4%
民生委員・児童委員として	5.6%	5.2%
地区社会福祉協議会役員として	2.0%	2.0%
その他	5.6%	4.9%

(4) 参加形態 (問14)

「自分一人」で参加した人が 81.6%と、約8割を占めている。

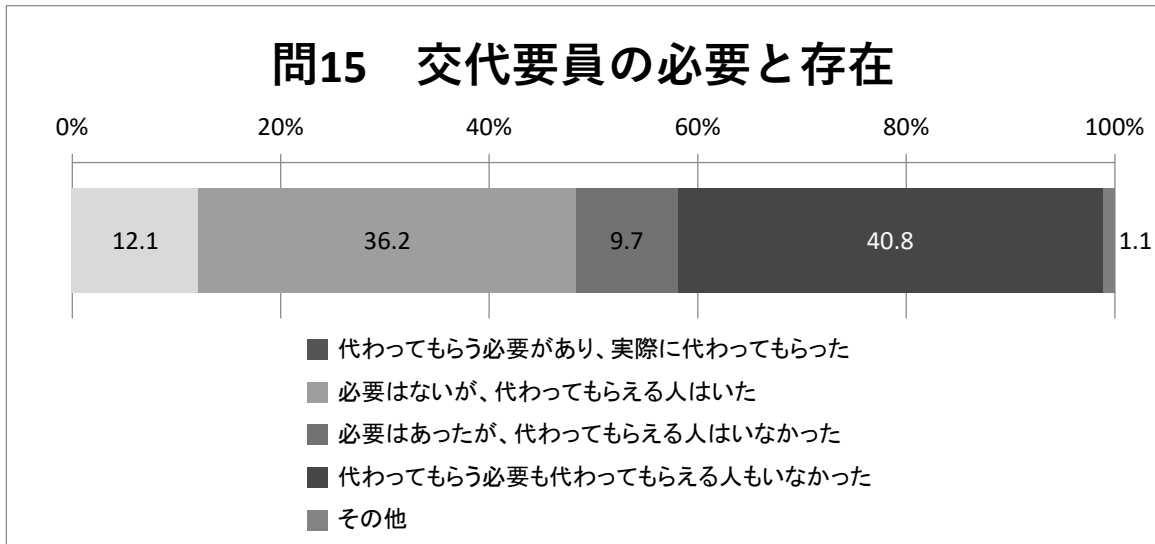


	自分一人	複数で	全体
R4	81.6%	18.4%	100.0%
R3	80.3%	19.7%	100.0%

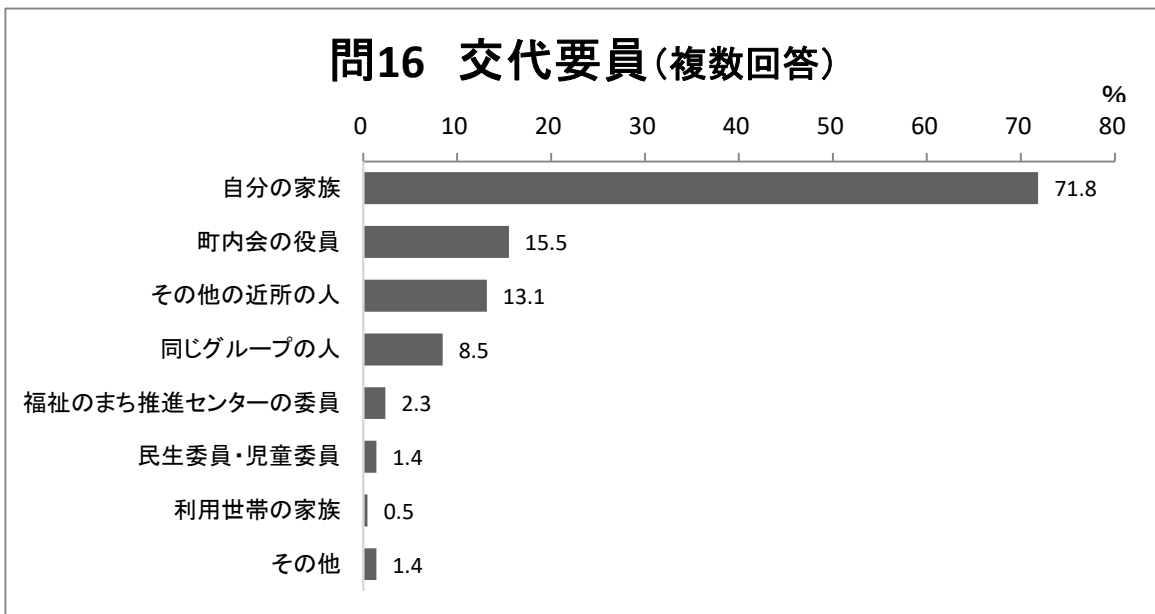
(5) 交代要員の必要と存在 (問15、問16)

交代要員の「いた」人（「代わってもらい必要があり、実際に代わってもらった」、「必要はないが、代わってもらえる人はいた」）は48.3%と、約5割を占めている。一方で、「必要はあったが、代わってもらえる人はいなかった」は9.7%となっている。

また、交代要員は「自分の家族」（71.8%）の割合が最も高く、次いで「町内会の役員」（15.5%）、「その他の近所の人」（13.1%）となっている。



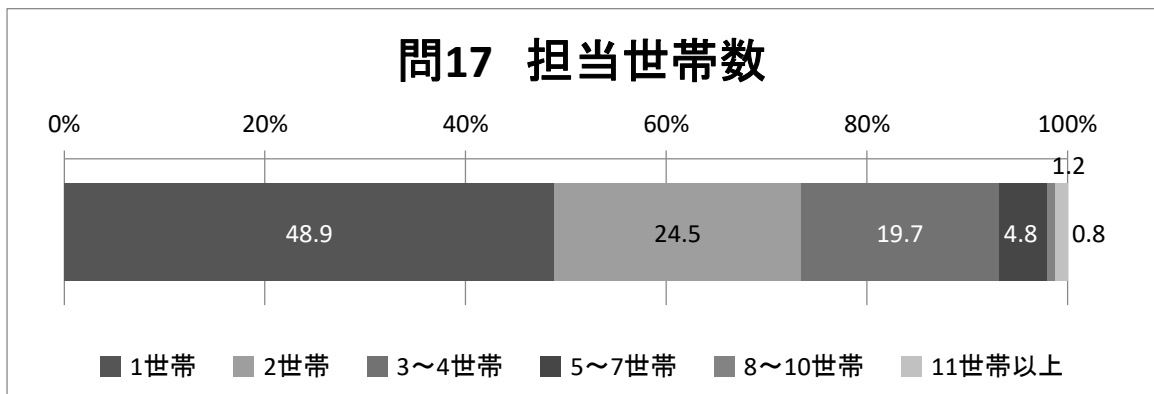
交代要員の多くは「自分の家族」で、約7割に上る。次いで「町内会の役員」（15.5%）、「その他の近所の人」（13.1%）であった。また、前年度と比較すると、「民生委員・児童委員」「福祉のまち推進センターの委員」の割合が10ポイント前後減少したのに対し、「その他の近所の人」は、12.1ポイント増加している。



	R4	R3
自分の家族	71.8%	62.4%
町内会の役員	15.5%	17.0%
その他の近所の人	13.1%	1.0%
同じグループの人	8.5%	1.5%
福祉のまち推進センターの委員	2.3%	11.3%
民生委員・児童委員	1.4%	16.0%
利用世帯の家族	0.5%	2.6%
その他	1.4%	1.0%

(6) 担当世帯数 (問17)

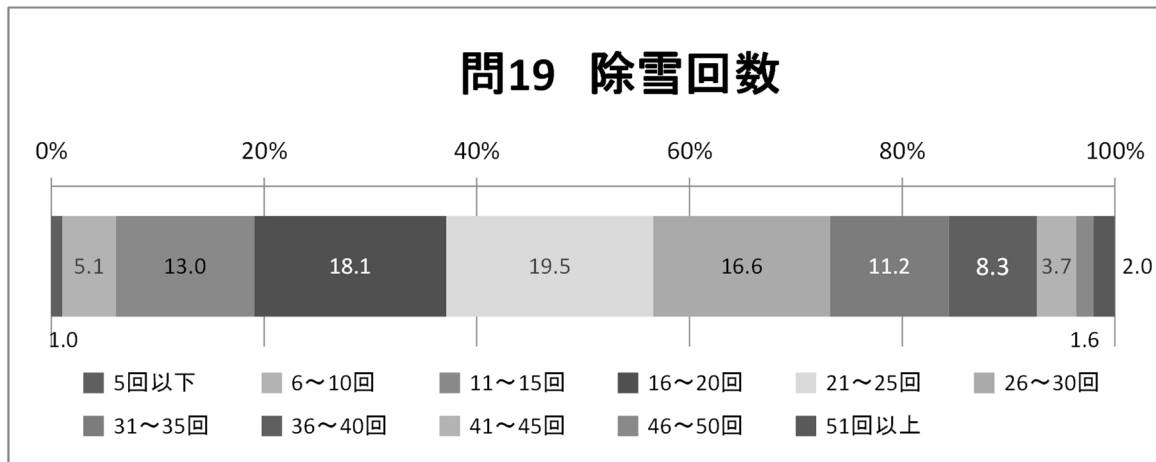
「1世帯」が48.9%と、約半数を占めている。また、前年度と比較すると、「1世帯」「3~4世帯」「11世帯以上」の項目で、割合が増加している。



	1世帯	2世帯	3~4世帯	5~7世帯	8~10世帯	11世帯以上	全体
R4	48.9%	24.5%	19.7%	4.8%	0.8%	1.2%	100.0%
R3	48.8%	26.5%	17.6%	5.4%	1.7%	0.0%	100.0%

(7) 除雪回数 (1世帯あたり平均) (問19)

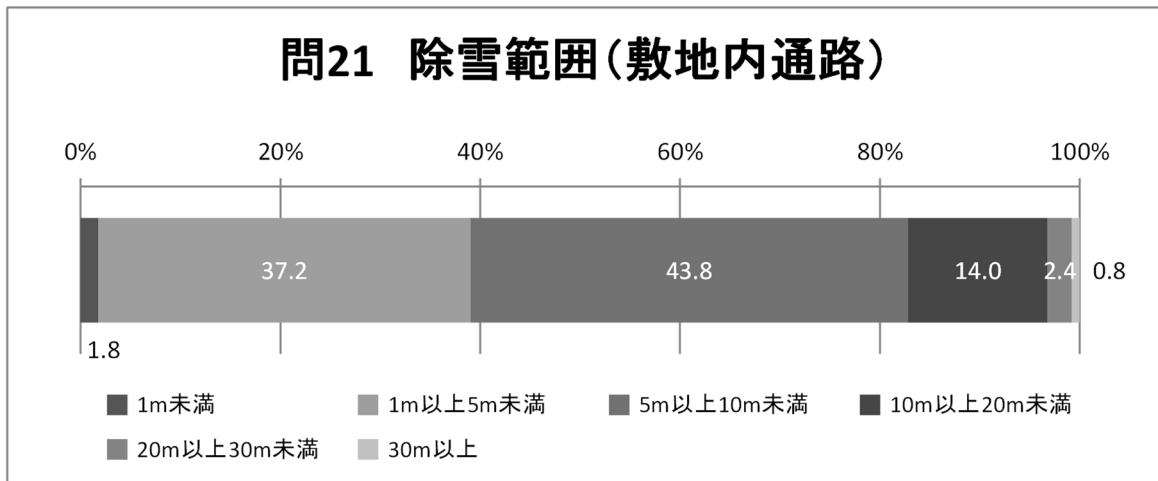
「21~25回」が19.5%と最も高く、次いで「16~20回」(18.1%)、「26~30回」(16.6%)、「11~15回」(13.0%)、「31~35回」(11.2%)となり、特に『21回以上』は62.9%と全体の約6割となっている。



	5回以下	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31~35回	36~40回	41~45回	46~50回	51回以上	全体
R4	1.0%	5.1%	13.0%	18.1%	19.5%	16.6%	11.2%	8.3%	3.7%	1.6%	2.0%	100.0%
R3	2.2%	2.7%	8.4%	15.5%	19.2%	20.4%	11.6%	9.9%	4.7%	3.0%	2.5%	100.0%

(8) 除雪範囲（敷地内通路）（問21）

「5m以上10m未満」の割合が最も高く43.8%、次いで「1m以上5m未満」が37.2%であった。また、『10m以上』は17.2%と、全体の約2割であった。



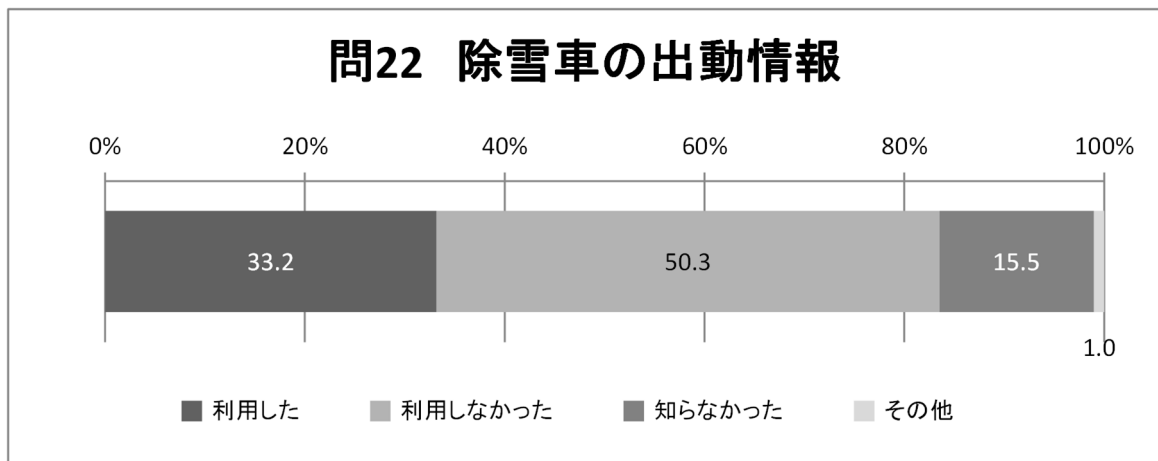
「適切な活動費（問8）」別にみると、「1m未満」を除く全ての項目において「25,000円～30,000円未満」と回答する割合が最も高かった。

	15,000円未満	15,000円～20,000円未満	20,000円～25,000円未満	25,000円～30,000円未満	30,000円以上
1m未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
1m以上5m未満	2.6%	1.3%	7.9%	57.9%	30.3%
5m以上10m未満	6.3%	3.2%	12.6%	60.0%	17.9%
10m以上20m未満	5.6%	2.8%	11.1%	52.8%	27.8%
20m以上30m未満	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
30m以上	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

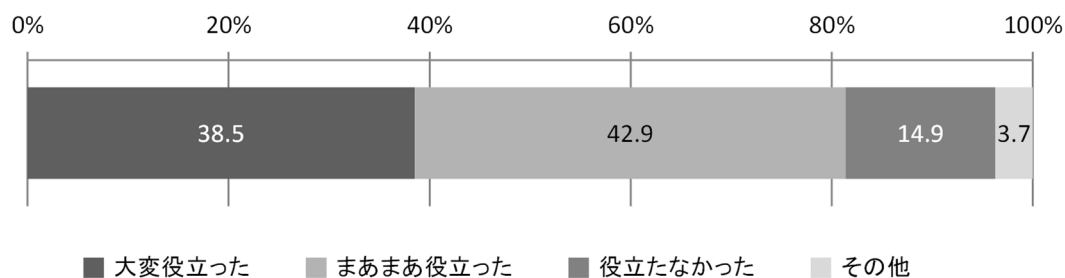
(9) 除雪車出動情報の活用（問22、問23）

除雪車の出動情報を「利用した」と回答した方の割合は33.2%と、約3割であった。

利用の評価については、「大変役に立った」と「まあまあ役に立った」を合わせて81.4%と、約8割が『役立った』と回答している。



問23 除雪車の出動情報の評価



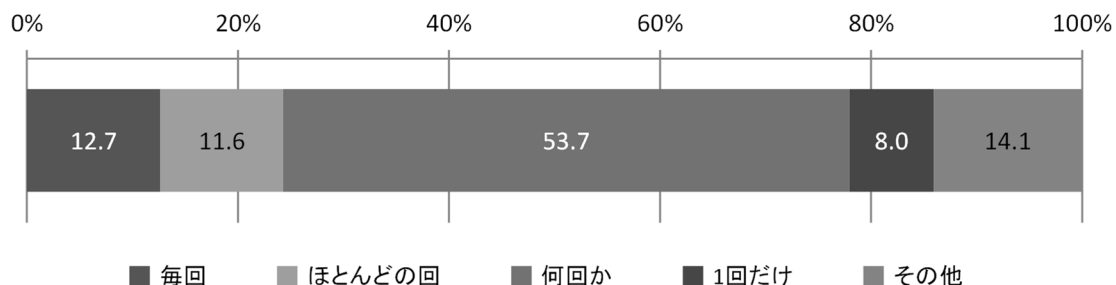
	大変役立った	まあまあ役立った	役立たなかった	その他	全体
R4	38.5%	42.9%	14.9%	3.7%	100.0%
R3	49.0%	37.3%	11.8%	2.0%	100.0%

(10) 声かけ・安否確認 (問26)

「何回か」が 53.7%と、約半数を占めている。一方、「毎回」(12.7%)と「ほとんどの回」(11.6%)を合わせた『日常的な声かけ』は 24.3%と、約3割であった。

また、「その他」には『朝早いのでしなかった』『郵便受け・新聞等で確認』などの回答が多く挙げられた。

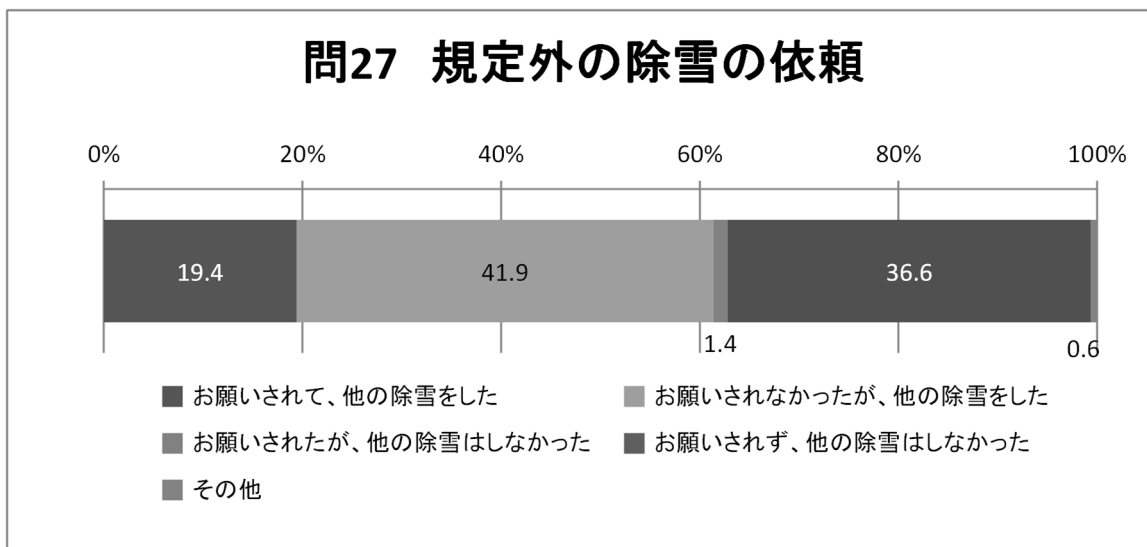
問26 声かけ・安否確認等の実施



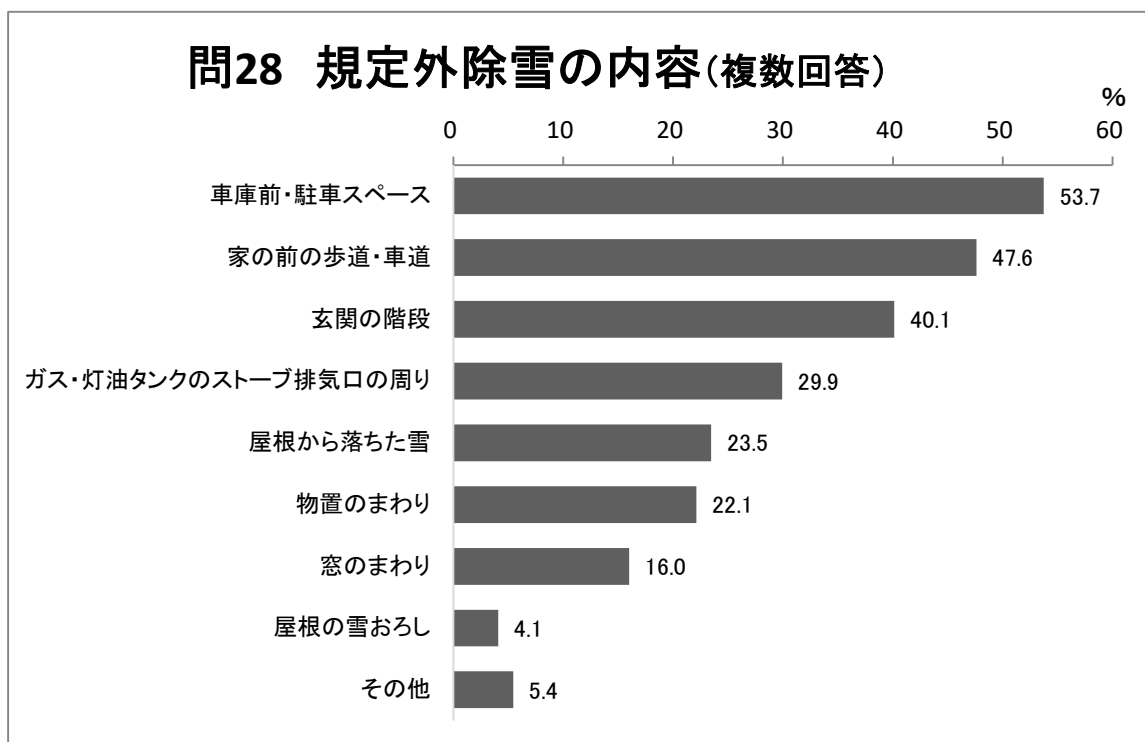
	毎回	ほとんどの回	何回か	1回だけ	その他	全体
R4	12.7%	11.6%	53.7%	8.0%	14.1%	100.0%
R3	11.2%	13.9%	49.3%	7.3%	18.3%	100.0%

(11) 規定外の除雪（問27、問28）

「お願いされなかったが、他の除雪をした」の割合が最も高く41.9%であった。「お願いされて、他の除雪をした」と合わせると約6割が、規定外の除雪を実施している。



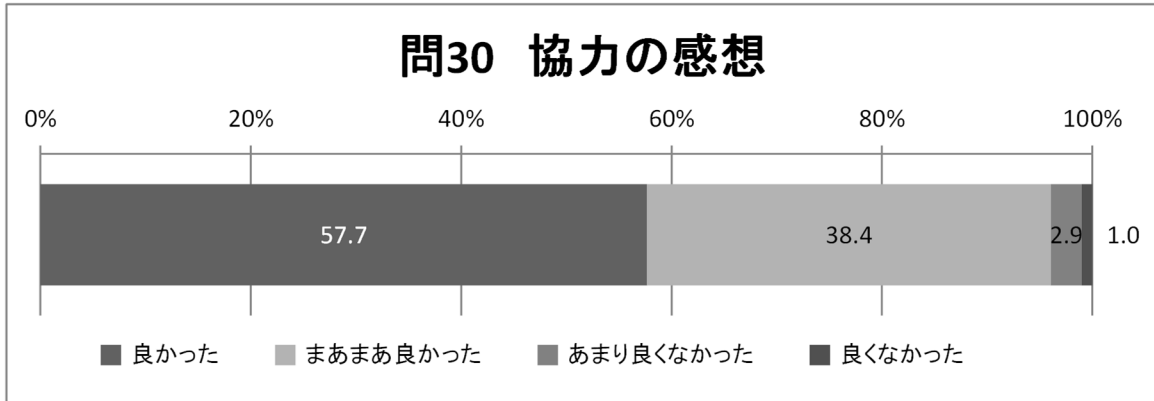
また、除雪を行った箇所については「車庫前・駐車スペース」の割合が最も高く53.7%、次いで「家の前の歩道・車道」が47.6%、「玄関前の階段」が40.1%であった。



3. 福祉除雪事業への参加について

(1) 協力の感想 (問30)

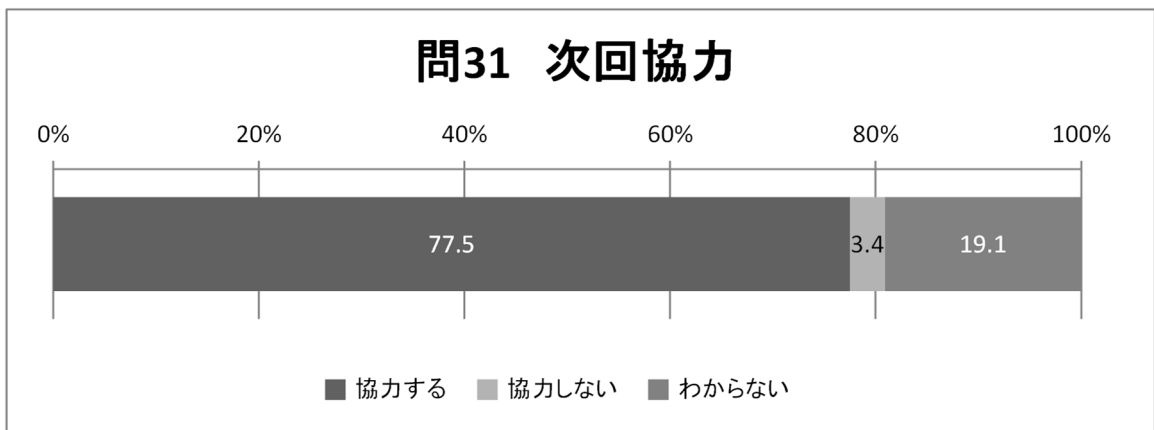
「良かった」「まあまあ良かった」を合わせると 96.1%となり、ほぼ全ての人が『良かった』と回答している。



	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	全体
R4	57.7%	38.4%	2.9%	1.0%	100.0%
R3	50.4%	37.1%	9.2%	3.3%	100.0%

(2) 次回協力 (問31)

「次回も協力する」は 77.5%と、約8割となっている。



	協力する	協力しない	わからない	全体
R4	77.5%	3.4%	19.1%	100.0%
R3	74.4%	5.3%	20.3%	100.0%

「除雪作業が大変である理由」（問10）別にみると、いずれの項目も「協力する」の割合が最も高かった。その中でも「雪を片付ける場所が足りない」の割合は全項目中最も高く、81.0%であった。

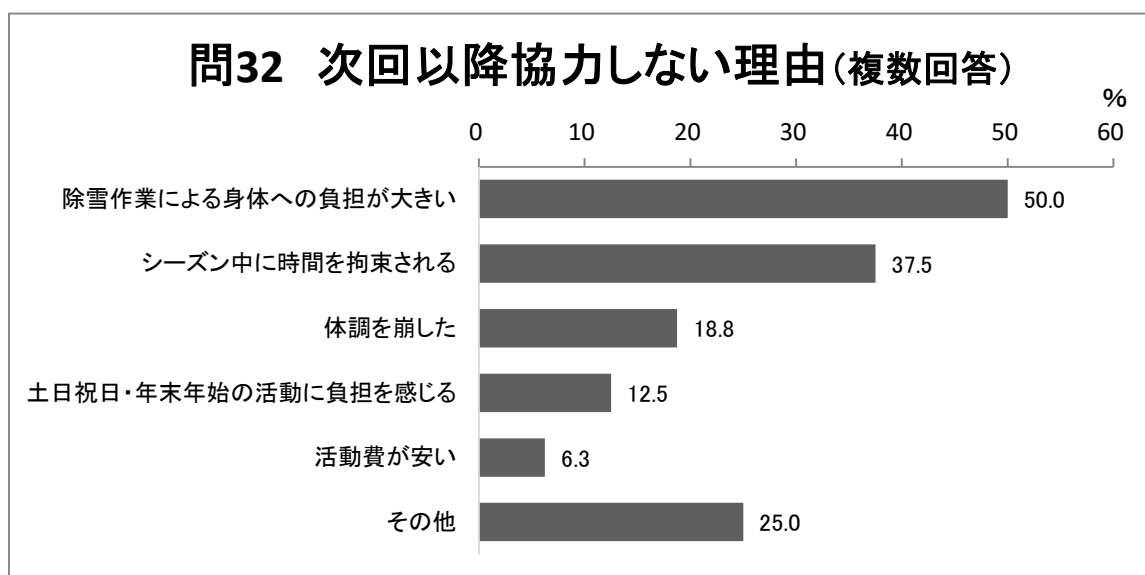
	協力する	協力しない	分からない
除雪作業による身体への負担が大きかった	68.0%	7.4%	24.6%
雪を片付ける場所が足りない	81.0%	1.4%	17.5%
昼までに終わらせなければならない	73.7%	3.9%	22.4%
降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない	73.0%	5.6%	21.4%
利用世帯に声をかけをしなければならない	78.3%	4.3%	17.4%
シーズン通しての活動である(12月～3月)	73.3%	2.2%	24.4%
その他	75.7%	5.4%	18.9%

「除雪範囲（敷地内通路）」（問21）別にみると、いずれの項目も「協力する」の割合が最も高かった。その中でも「1m未満」の割合は全項目中最も高く、88.9%であった。

	協力する	協力しない	分からない
1m未満	88.9%	11.1%	0.0%
1m以上 5m未満	73.5%	4.4%	22.1%
5m以上 10m未満	79.1%	2.8%	18.0%
10m以上 20m未満	80.0%	2.9%	17.1%
20m以上 30m未満	75.0%	0.0%	25.0%
30m以上	75.0%	0.0%	25.0%

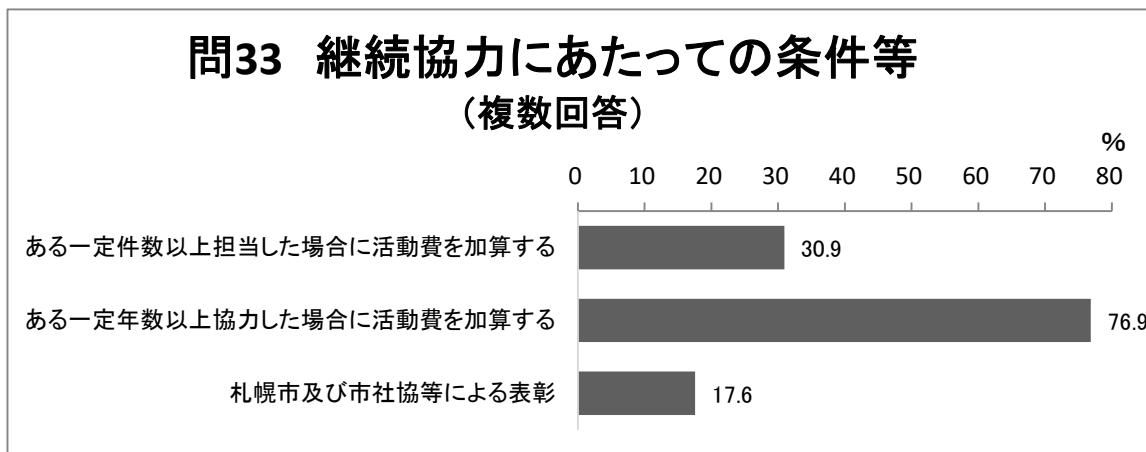
(3) 協力しない理由（問32、問31で「協力しない」と回答した方限定）

「除雪作業による身体への負担が大きい」が50.0%と最も高く、次いで「シーズン中に時間を拘束される」（37.5%）、「体調を崩した」（18.8%）となっている。



(4) 継続協力にあたっての条件等 (問33)

「ある一定年数以上協力した場合に活動費を加算する」の割合が最も高く、76.9%であった。



また、「担当世帯数」(問17)別にみると、いずれの項目においても「ある一定年数以上協力したら」の割合が最も高かった。その中でも「5~7世帯」の割合は全項目中最も高く、88.9%であった。

	ある一定件数 以上担当したら	ある一定年数 以上協力したら	札幌市及び市 社協による表彰
1世帯	22.8%	75.0%	15.4%
2世帯	37.0%	80.8%	17.8%
3~4世帯	36.2%	76.8%	17.4%
5~7世帯	22.2%	88.9%	16.7%
8~10世帯	75.0%	75.0%	100.0%
11世帯以上	100.0%	33.3%	33.3%

(5) 「福祉除雪についての意見（改善点など）（自由記入）（問34）」

主な意見抜粋

回答者数合計 217件（無回答・「特になし」を除く）

項目	内容	件数
課題・要望	福祉除雪に従事しているのは高齢者が多いと思います。若年層への働き掛けをするためにも協力していただける環境づくりが優先されると思います。時間は拘束・制約の問題、出勤の可否判断、活動費の見直し等の解決が急がれる問題と思う。また、除雪対象者の見直しも必要です。	78
	福祉除雪の可否について前年実施にもかかわらず本年申込されていないことから確認したら必要であることが判明した。一人暮らしのお年寄りが申込失念されていないか、事前に確認してほしいです。	
	除雪に行ったら既に終わっている(毎回)家があり、福祉除雪が必要か疑問に思う。除雪資材が複数必要な家庭があり、携行していくのが負担。担当世帯の玄関付近に除雪資材を出していただければ負担が軽くなる。	
	除雪機を個人利用した際、ガソリン代を補助してほしい。手作業だけでは体力的に負担なので利用するが、ガソリン代の高騰で活動費が飛ぶ。	
基準外の除雪	朝自分の家の除雪の必要などとき必ず行きます。ごみ出しに間に合うように行きます。	49
	病院に行くため車庫・道路等の除雪が必要で時間がかかります。除雪車が入らず2~3日雪が降ると大変な事になるので毎日の除雪が必要です。	
	決まった幅とかありますが、車駐車できるようにするためには広く投げなくてはならないのでなかなか大変です。玄関先に屋根の雪が落ちるのも冬中大変です。何軒分もやった気分です。	
	物置に漬物樽があるので物置の前（2間幅）までお願いされ、行った。	
やりがい・達成感	中学生の息子がメインで活動しましたが、利用者の方からわざわざお電話でお礼を言われたり、「いつもエライね！」と近所の方から声を掛けられたりと、とても良い経験をさせていただいたと思っております。お友だちにもオススメしました。学校や経験者からの紹介制度など、もっと認知度を高める工夫が必要だと思います。	40
	体が動くうちは協力員を継続したい。利用者からは感謝されています。高齢化が進み、協力員の体制作りが急務と思います。若い方へのバトンタッチ、後継者の確保が大事と考えます。	
	体力錬成のつもりでやっていたので何も苦ではなく、最後まで楽しく実施できた。たまに会う依頼者からのお礼の言葉もうれしく感じた。LINEで事前に除雪予定が分かるシステムは非常に良いと感じる。今後も継続していきたいです。ありがとうございました。	
協力員の募集・拡充等	10軒10,000円加算とは言いませんが、5軒で1,000円、5年で1,000円でも加算してもらえると励みになる。年数と延べ世帯数により表彰があっても良いのではないかと。	28
	一人で担当すると、期間中どこにもでかけることができない。どうしても近隣の除雪状況に合わせて除雪するので広範囲に除雪することになる。何人かで協力しながら数軒を担当できれば良い。町内会の協力が得られない。（関心が薄い）	
除雪車の出勤・作業内容	市の除雪車が市道を除雪する場合、協力員がせっかく除雪した玄関部分に高いウネのような雪を残していくことが多い。車道除雪を優先する理由は理解できるが住民が家から出入りに困るような除雪作業のやり方は検討が必要だと思います。	22
	積雪がほんの少しの場合でも、市の除雪車が出勤すると出勤しなければならず、実際に訪問しても何もすることなく終わったということが何度かありました。	
制度の周知	除雪希望者に対し範囲の説明を徹底してほしい。時間指定等もあった。	10
	福祉除雪する担当者によって除雪の範囲とかが違い、比べられるのは嫌である。再度除雪の範囲とかを徹底してほしい。	
その他	今回2軒担当しましたが、3軒くらいはできそうですが。隣の家など近ければもっといい。	20
	社協担当者の対応がとても親切、丁寧で安心して仕事が進められました。感謝しています。ありがとうございました。	

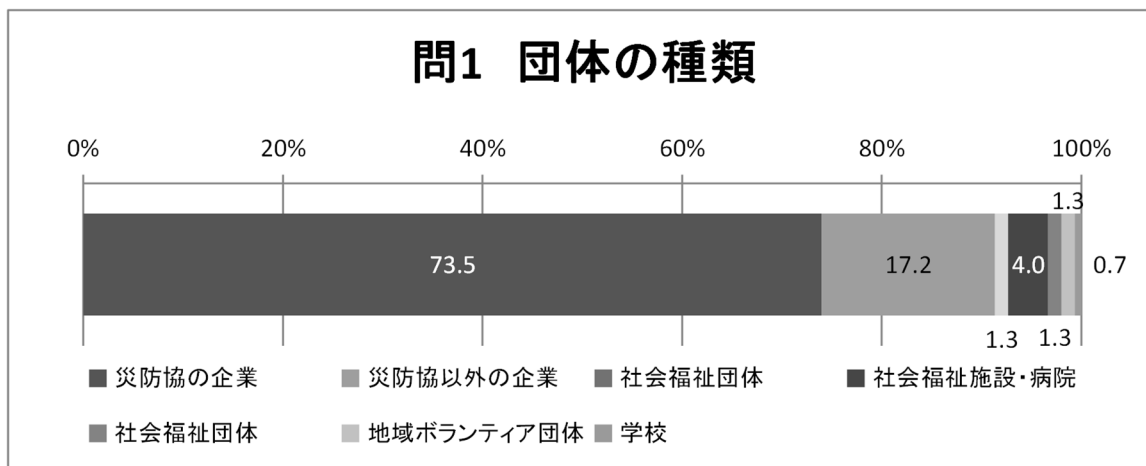
IV 地域協力団体

地域協力員のうち、地域協力団体（NPO、福祉施設、学校、地域企業、防災協）の協力員「195 団体（区間で重複する企業等を除く）」全てを対象にアンケート調査を実施したところ、「152 団体」から回答があった。（回収率 77.9%）

1. 団体について

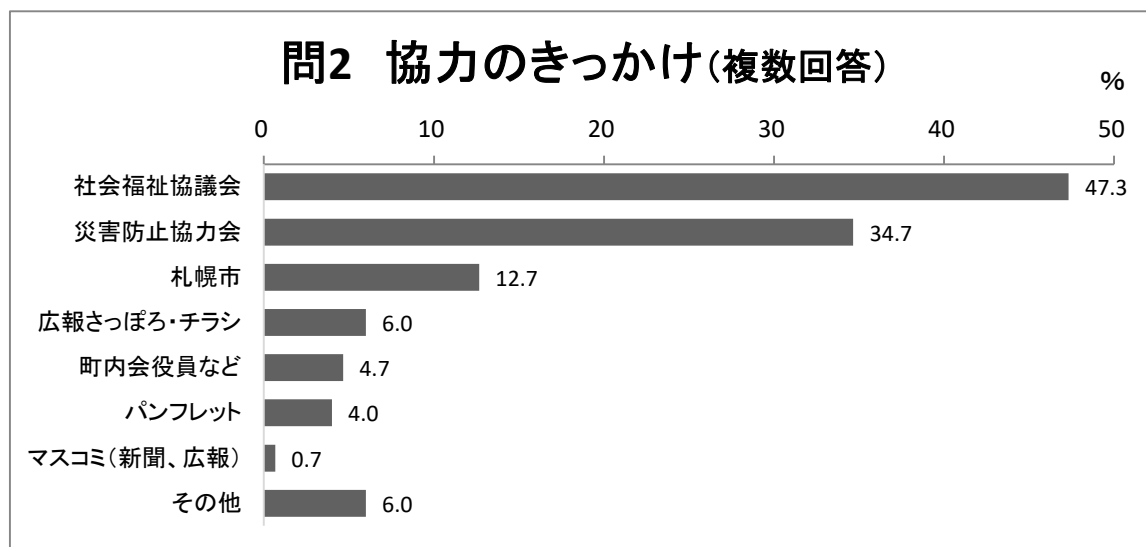
(1) 団体の種類（問1）

「災害防止協議会の企業」の割合が最も高く 73.5%、次いで「災害防止協議会以外の企業」が 17.2%であった。



(2) 協力のきっかけ（問2）

「社会福祉協議会」の回答の割合が 47.3%と最も高く、次いで「災害防止協議会」が 34.7%と、関係団体からの協力要請が多い。他には「札幌市」が 12.7%、「広報さっぽろ・チラシ」が 6.0%となっている。また、前年度と比べると「社会福祉協議会」が 10 ポイント以上増加している。

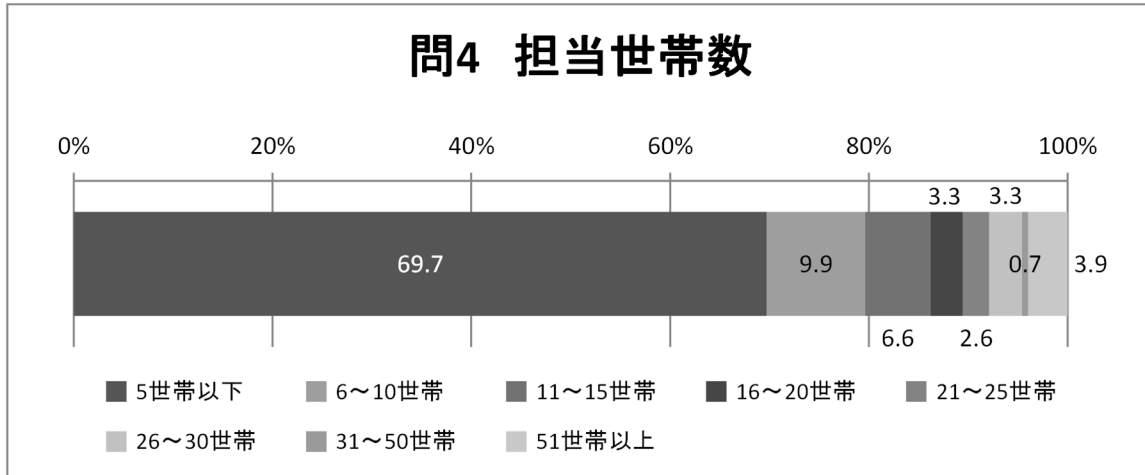


	R4	R3
社会福祉協議会	47.3%	34.7%
災害防止協力会	34.7%	40.1%
札幌市	12.7%	18.4%
広報さっぽろ・チラシ	6.0%	6.8%
町内会役員など	4.7%	5.4%
パンフレット	4.0%	3.4%
マスコミ(新聞、広報)	0.7%	2.0%
その他	6.0%	5.4%

2. 除雪を担当した利用世帯について

(1) 担当世帯数（問4）

「5世帯以下」が69.7%と、最も高くなっている。また、「6～10世帯」の9.9%と合わせると、『10世帯以下』は約8割を占める。

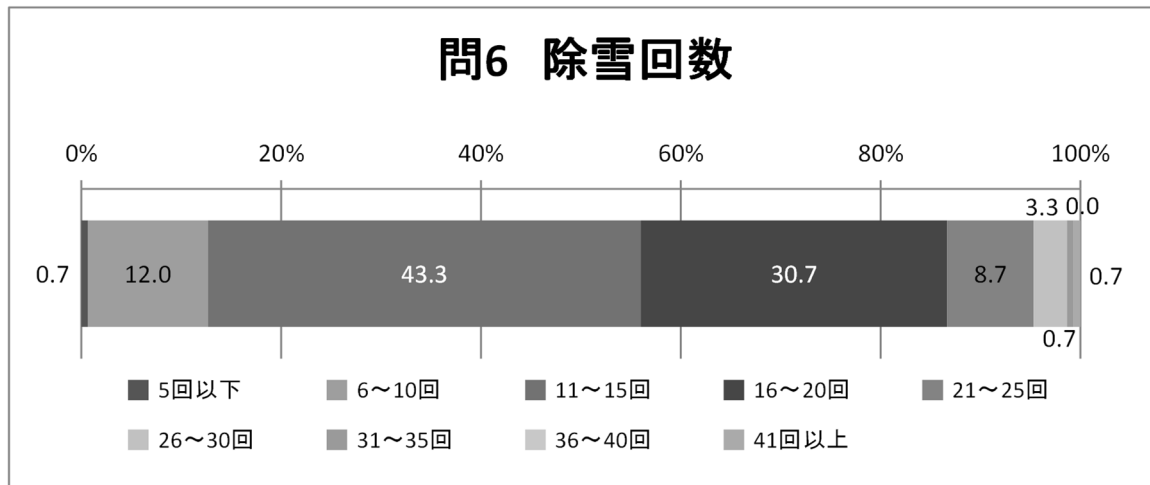


	5世帯以下	6～10世帯	11～15世帯	16～20世帯	21～25世帯	26～30世帯	31～50世帯	51世帯以上	全体
R4	69.7%	9.9%	6.6%	3.3%	2.6%	3.3%	0.7%	3.9%	100.0%
R3	68.9%	13.5%	6.1%	3.4%	2.7%	0.0%	2.0%	3.4%	100.0%

(2) 除雪回数（1世帯あたり平均）（問6）

『15回以下』と回答した割合の合計は56.0%と、約半数を占めている。また、前年度と比較すると、『15回以下』の除雪回数の割合は増加している。

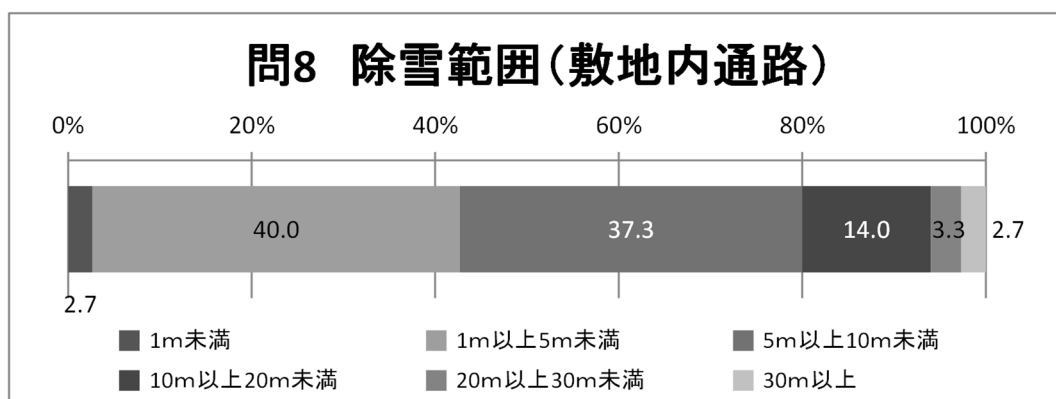
令和3年度は観測史上5番目となる降雪量であったが、令和4年度の降雪量は平年並みであり、そのため除雪の回数が少なくなったと考えられる。



	5回以下	6～10回	11～15回	16～20回	21～25回	26～30回	31～35回	36～40回	41回以上	全体
R4	0.7%	12.0%	43.3%	30.7%	8.7%	3.3%	0.7%	0.0%	0.7%	100.0%
R3	4.1%	8.3%	37.9%	32.4%	12.4%	1.4%	2.1%	0.7%	0.7%	100.0%

(3) 除雪範囲（敷地内通路）（問8）

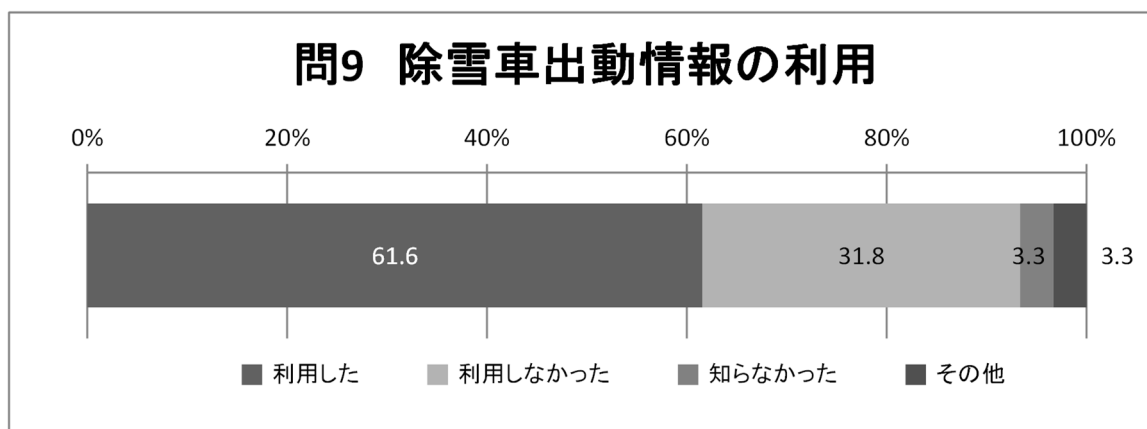
「1m以上5m未満」の割合が最も高く40.0%、次いで「5m以上10m未満」が37.3%であった。また『10m以上』は20.0%と全体の2割であった。



(4) 除雪車出動情報の利用（問9、問10）

出動情報を「利用した」は61.6%と、約6割であった。

利用の評価については、「大変役立った」と「まあまあ役立った」を合わせて96.6%と、利用したほとんどの団体が『役立った』としている。

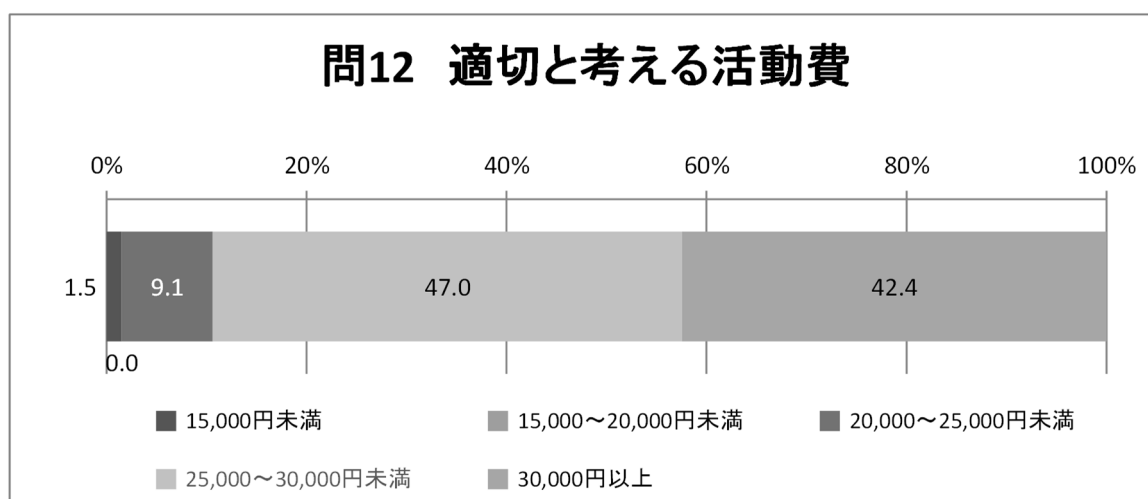
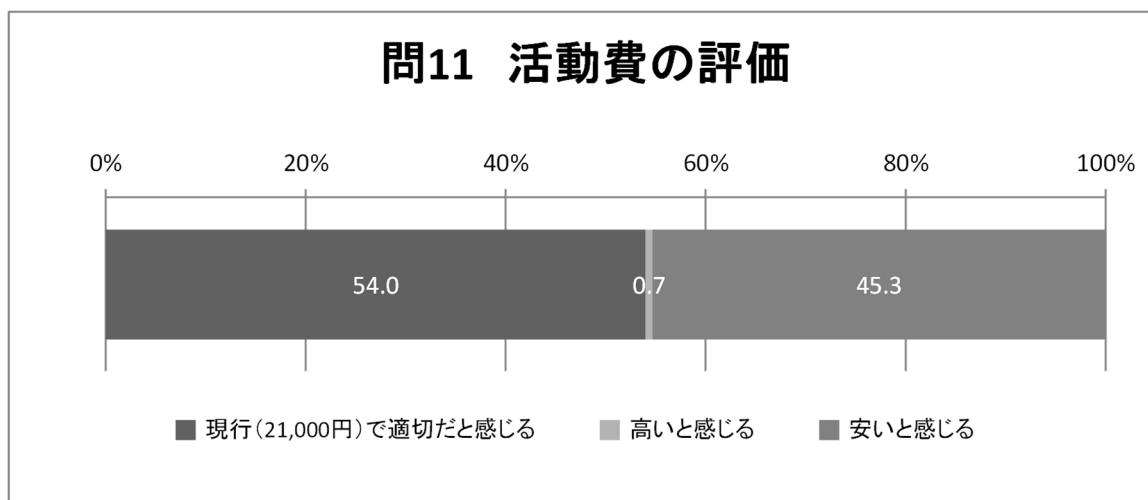


	大変役立った	まあまあ役立った	役立たなかった	その他	全体
R4	56.2%	40.4%	2.2%	1.1%	100.0%
R3	55.1%	42.7%	0.0%	2.2%	100.0%

(5) 活動費の評価 (問11、問12)

54.0%が「現行(21,000円)で適切と感じる」と回答している。一方、「安いと感じる」も45.3%と約5割が回答している。

また、問11で「高いと感じる」または「安いと感じる」と回答した方に、適切と考える活動費を尋ねたところ、「25,000円～30,000円未満」の割合が47.0%と最も高く、次いで「30,000円以上」が42.4%であった。

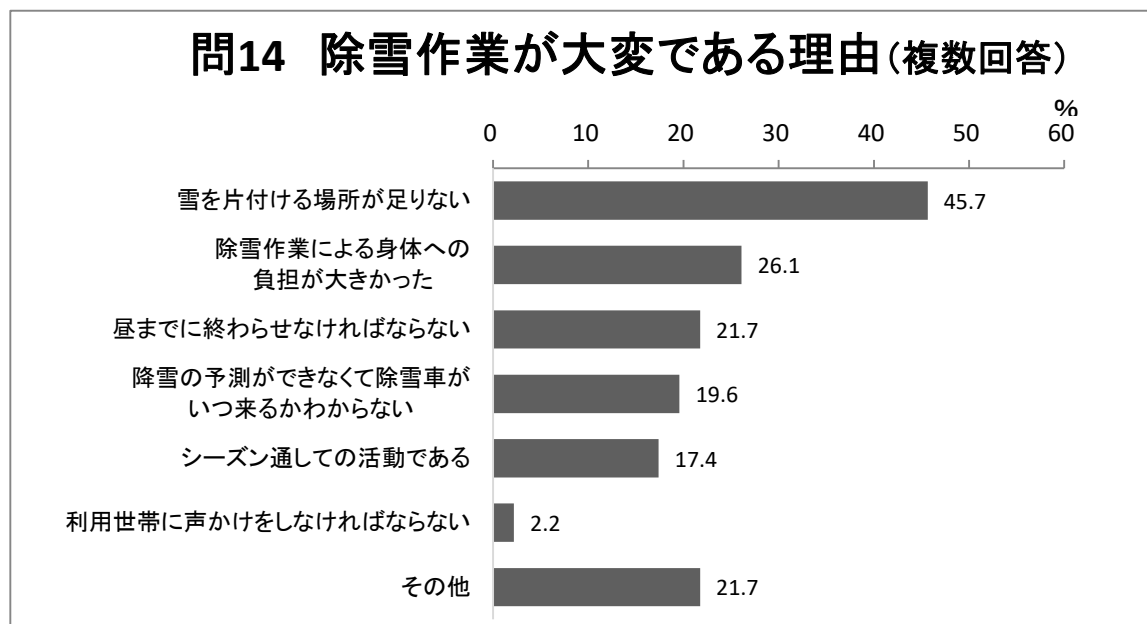
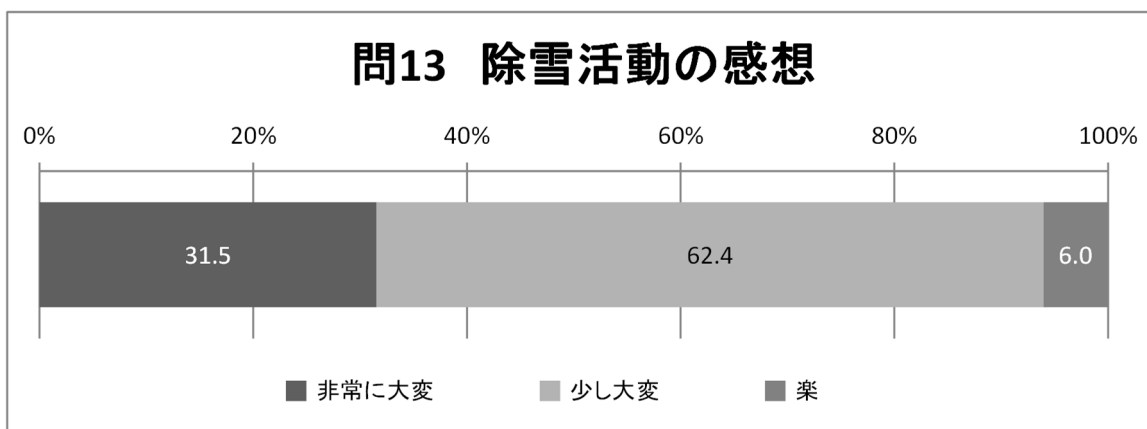


「除雪範囲(敷地内通路)」(問8)別にみると、『1m以上30m未満』の項目において「25,000円～30,000円未満」の割合が最も高かった。

	15,000円未満	15,000円～20,000円未満	20,000円～25,000円未満	25,000円～30,000円未満	30,000円以上	30m以上
1m未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
1m以上5m未満	0.0%	0.0%	15.0%	45.0%	40.0%	0.0%
5m以上10m未満	3.0%	0.0%	9.1%	48.5%	39.4%	0.0%
10m以上20m未満	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%
20m以上30m未満	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
30m以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

(6) 除雪活動の負担感（問13、問14、問15、問16）

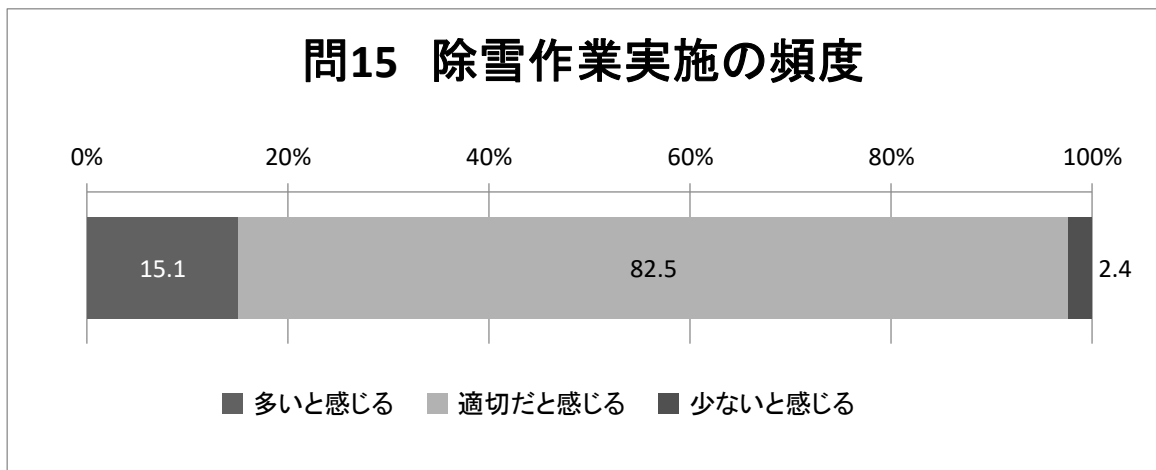
「少し大変」が 62.4%と約 6 割を占め、次いで「非常に大変」が 31.5%となっている。「除雪作業が大変」である理由としては、「雪を片付ける場所が足りない」（45.7%）、「除雪作業による身体への負担が大きかった」（26.1%）、「昼までに終わらせなければならない」（21.7%）が特に多くあげられた。



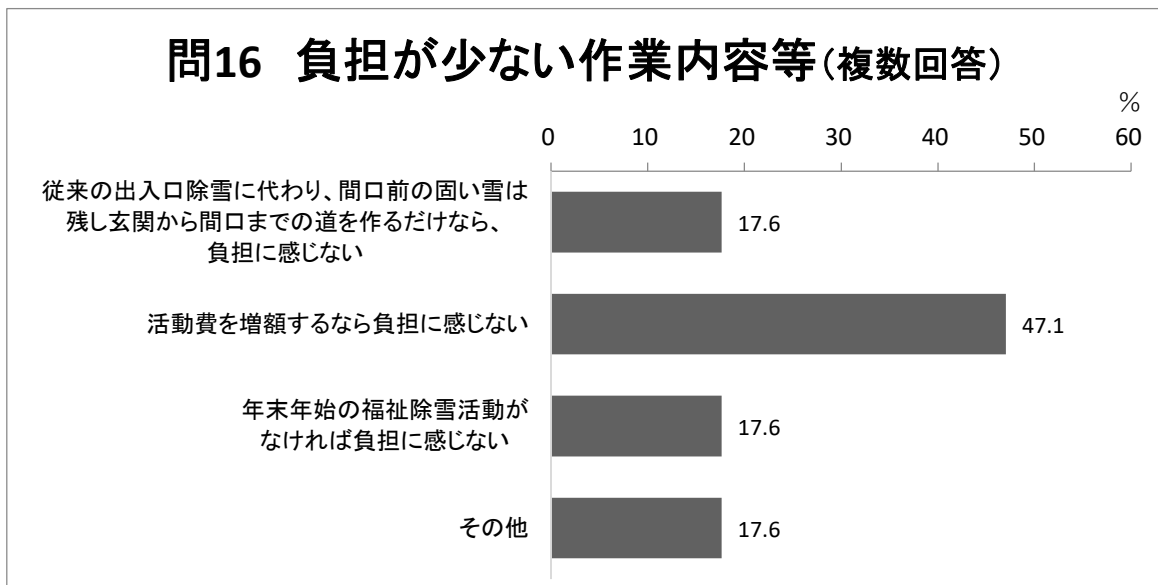
「適切と考える活動費」（問12）別にみると、「雪を片付ける場所が足りない」「除雪作業による身体への負担が大きかった」と回答した方は、いずれも「30,000円以上」の割合が最も高かった。

	15,000円未満	15,000円～20,000円未満	20,000円～25,000円未満	25,000円～30,000円未満	30,000円以上
除雪作業による身体への負担が大きかった	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	70.0%
雪を片付ける場所が足りない	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	61.5%
昼までに終わらせなければならない	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%
降雪の予測が出来なくて除雪車がいつ来るかわからない	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
利用世帯に声かけをしなければならない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問13で「非常に大変」「少し大変」と回答した方に、除雪作業実施の頻度（問15）を尋ねたところ、「適切だと感じる」の割合が最も高く82.5%であった。



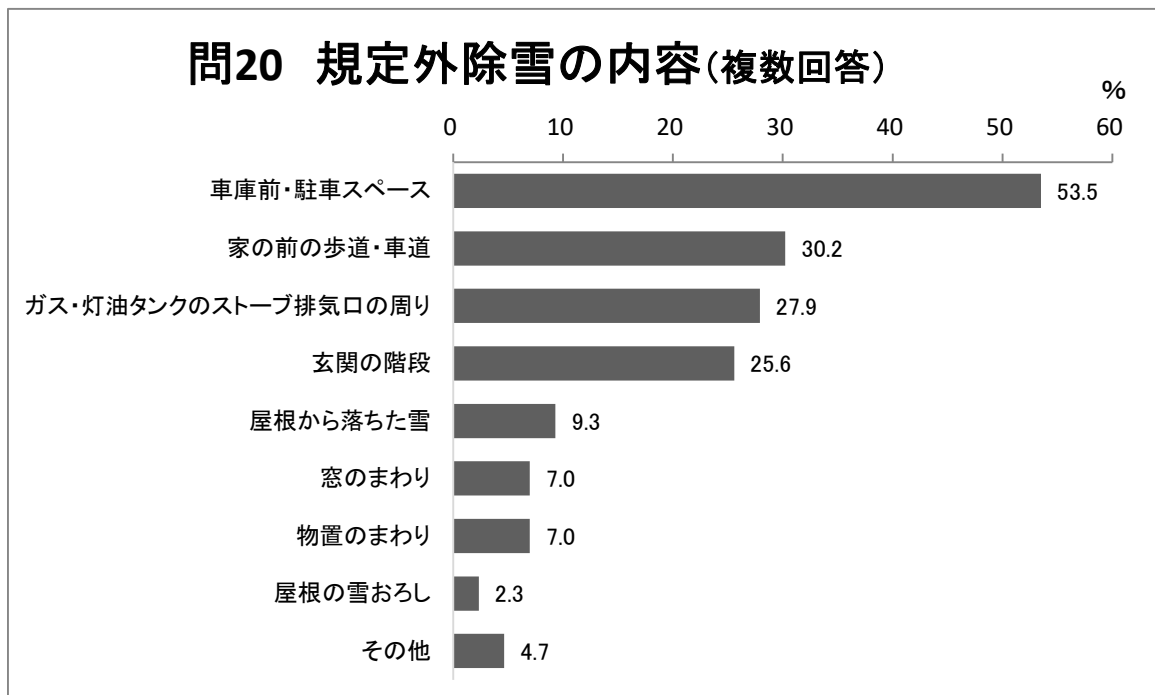
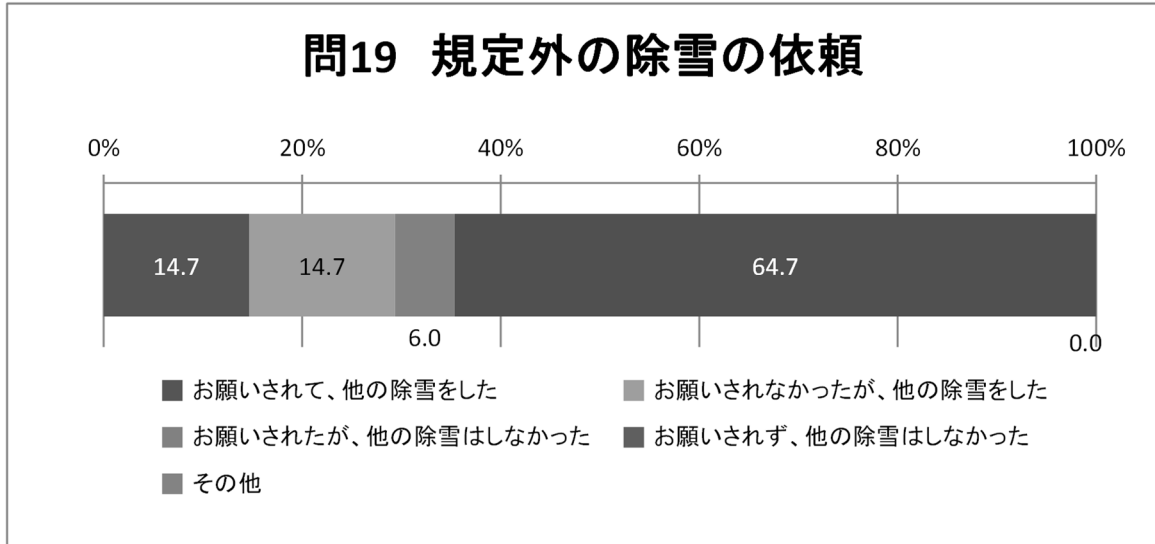
問13で「非常に大変」「少し大変」と回答した方に、負担に感じない作業内容等（問16）を尋ねたところ、「活動費を増額するなら負担に感じない」の割合が最も高く47.1%であった。



(7) 規定外の除雪（問19、問20）

「お願いされず、他の除雪はしなかった」の割合が最も高く 64.7%であった。一方、「他の除雪をした」は 29.4%と、約3割であった。

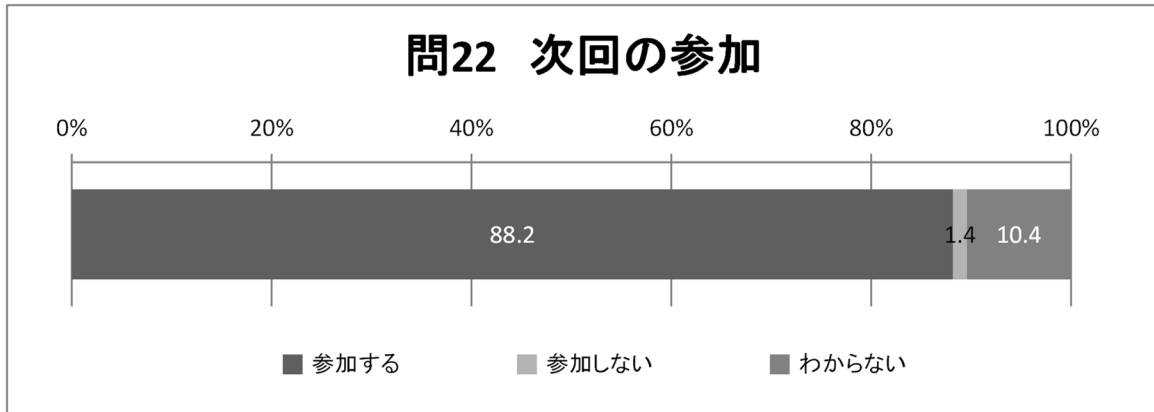
また、他の除雪を行った箇所について尋ねたところ、「車庫前・駐車スペース」の割合が最も高く 53.5%、次いで「家の前の歩道・車道」が 30.2%、「ガス・灯油タンクのストーブ排気口の周り」が 27.9%、「玄関前の階段」が 25.6%であった。



3. 次回以降の福祉除雪について

(1) 次回の参加（問22）

「参加する」が88.2%と、約9割を占めている。



	参加する	参加しない	わからない	全体
R4	88.2%	1.4%	10.4%	100.0%
R3	89.0%	2.7%	8.2%	100.0%

「除雪範囲（敷地内通路）」（問8）別にみると、いずれの項目も「参加する」の割合が最も高かった。

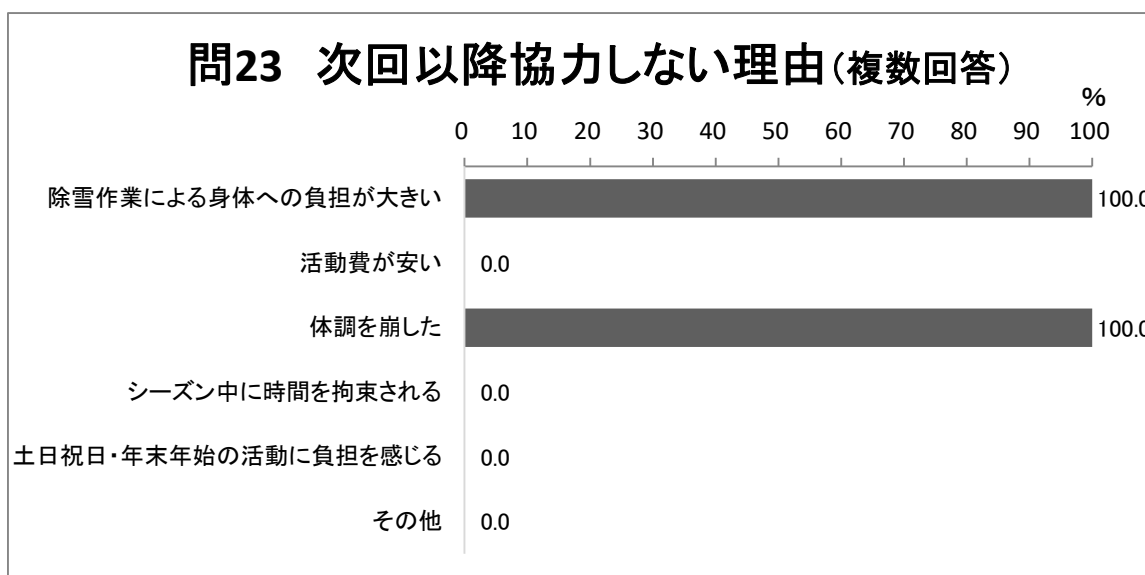
	参加する	参加しない	分からない
1m未満	75.0%	0.0%	25.0%
1m以上 5m未満	87.7%	3.5%	8.8%
5m以上 10m未満	94.2%	0.0%	5.8%
10m以上 20m未満	76.2%	0.0%	23.8%
20m以上 30m未満	100.0%	0.0%	0.0%
30m以上	75.0%	0.0%	25.0%

「除雪作業が大変である理由」（問14）別にみると、「利用世帯に声かけをしなければならない」以外は、いずれも「参加する」の割合が最も高かった。

	参加する	参加しない	分からない	全体
除雪作業による身体への負担が大きかった	60.0%	0.0%	40.0%	100.0%
雪を片付ける場所が足りない	85.7%	4.8%	9.5%	100.0%
昼までに終わらせなければならない	80.0%	10.0%	10.0%	100.0%
降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない	62.5%	0.0%	37.5%	100.0%
利用世帯に声かけをしなければならない	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
シーズン通しての活動である（12月～3月）	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

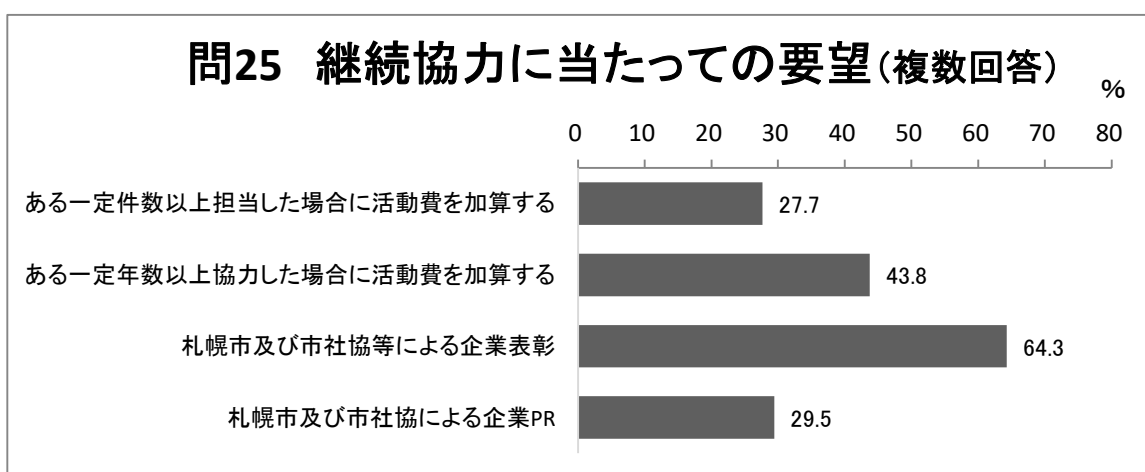
(2) 参加しない理由（問23、問22で「参加しない」と回答した方限定）

「除雪作業による身体への負担が大きい」「体調を崩した」との回答があった。



(3) 継続協力にあたっての条件等（問25）

「札幌市及び市社協等による企業表彰」の割合が最も高く 64.3%、次いで「ある一定年数以上協力した場合に活動費を加算する」が 43.8%であった。



「担当世帯数」（問4）別にみると、『10世帯以下』では「札幌市及び市社協等による企業表彰」が、『11～25世帯』では「ある一定件数以上担当したら」の割合が最も高かった。

	ある一定件数以上担当したら	ある一定年数以上協力したら	札幌市及び市社協等による企業表彰	札幌市及び市社協等による企業PR
5世帯以下	9.5%	36.5%	68.9%	32.4%
6～10世帯	41.7%	33.3%	66.7%	8.3%
11～15世帯	66.7%	55.6%	55.6%	33.3%
16～20世帯	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%
21～25世帯	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
26～30世帯	75.0%	100.0%	75.0%	50.0%
31～50世帯	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
51世帯以上	83.3%	100.0%	50.0%	33.3%

(4) 福祉除雪についての意見（自由記入）（問24）

主な意見抜粋

回答者数合計 38件（無回答・「特になし」を除く）

項目	内容	件数
課題・要望	人件費、燃料代の高騰で経費がかかるので、活動費が増えたら大変ありがたい。	27
	会社の近くで、徒歩で行けるところが望ましい。車の駐車スペースがなく大変であった。車道に止める場合は福祉除雪作業中の明示がほしい。福祉除雪希望者の町内会が近くで出来る人を探すことを臨みます。	
	今回、降雪量を考えて22回出動しましたが、市の道路除雪（生活道路）はさほど出なかったと感じられる。出動情報が悪く、夜中23時に出動になったり、告知なく朝方に作業中などの表示になったり。これは提供する側なのか告知する土木組合なのかわかりませんが、今季の作業ではやりづらさを感じました。それにより利用されている皆様にもご迷惑をかけたことが心苦しいと思います。来季も住みやすい地域にご協力していきたいと思います。	
	高齢者の方の場合、個人情報等もあるかと思いますが、認知症の可能性などがあるなどのちょっとした情報があれば、作業を行った上でのトラブルの対応・仕方などを考えておけるかなと思います。また、作業時間の幅がもう少しあるならば、作業できる業者やお宅も増えるかなと思います。	
	堆積スペースがないため、雪を高く積みあげる。住居が雪で隠れる。	
利用世帯の理解不足	AM7時ごろ作業をしに行ったところ「やりに来るのが遅い」と苦情を言われた。利用者には昼までに終わらせるという内容を周知してほしい。	6
	せっかくのご縁なので、出来る限り協力して除雪を行おうと思うが、基本ルールは理解してほしい。	
やりがい・達成感	今回の除雪活動を通じてやりがいと余裕を感じております。今後もより多くの世帯様に貢献したいと考えておりますので、来年度からもよろしくお願ひ申し上げます。	5
	微力ながら、地域社会へ貢献できれば良いと思います。	
その他	とても良い制度だと思います。安否確認もできるので。	3